大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

定價 本紙一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

敢然劉家行進撃
歸家衙敵陣奪取
三面攻撃體形にて肉薄

【上海廿七日發國通】蘊里方面の敵に接近した田上部隊の一部隊は廿六日夜半細雨そぼ降る漆黒の闇を利用して無電臺に據る敵の前方三十米の地點まで近迫、黎明を期して一齊に壯烈なる突撃を敢行午前五時半完全にこれを占據した、さらに同隊は附近の殘敵を掃蕩、これとゝもに謝宮、垣内兩部隊と協力淵見部隊の戰車〇臺の掩護下に文衡堂、十二房方面の敵を蹂躪し劉家行に向け進撃中である、雪崩をうつて敗走した敵は劉家行の要點を死守すべくその東北二百米のクリークに沿うて強力な陣地を構築し反撃の體形をとつてゐる、一方鷹森部隊は劉家行北方一キロの太西橋方面を攻撃し、石井部隊は王丸房を午前五時五十分に占據さらに趙家宅を攻略三方から劉家行に向け進撃中で、同地の陷落はいよ〳〵切迫した

【上海廿七日發國通】二十六日午後九時軍報道部發表

一、劉家行東側附近の敵陣地攻撃中の〇〇部隊は昨夕その右翼方面において金田、中島部隊が歸家衙附近の敵陣地へ白兵を以て突入格鬪の後敵を東方に潰走せしめ本日更にその前面の敵陣地を突破し上海街道に肉薄せり

二、羅店鎭方面においてはわが〇〇部隊は昨夕來激烈な攻撃を續行し〇〇部隊を以て上海街道に沿ふ地區を南方に戰果を擴張し〇〇部隊の東王宅、劉家宅方面よりの攻撃と相俟つて逐次當面の敵を壓迫しつゝあり

衢州、上饒兩停車場爆破

【上海廿七日發國通】〇〇海軍航空隊は廿六日正午頃颱風圏内における惡天候を冒し杭江鐵道軍要地點たる金華を空襲、衢州、上饒の各停車場を爆破した

【上海廿七日發國通】二十七日午前十時第〇艦隊報道部發表＝一、二十六日正午わが海軍航空隊が杭江鐵道要地を爆撃したことは既報の通りであるが、その爆破の詳報左の如し、金華—鐵路および貨車數輛、衢州—停車場、鐵路および貨車數十輛、上饒—機關庫、貨車數輛、なほわれの全機悠々歸還、損害なし、二、また昨日一部兵力は廣德飛行場に待期せるノースロップ一機を爆破し寧海においては格納庫を爆撃せり

朱紹良が京滬總指揮に任命さる

【上海廿七日發國通】甘肅綏靖主任朱紹良は廿六日附をもつて張治中に代つて京滬總指揮に任命され上海地區における抗日軍の最高指揮を執る事となつた、右は張麾下の第一線部隊第卅六、第八十七、第八十八師等の蔣介石直系の最精鋭部隊でわが軍數次の猛撃で大損害を蒙つて後退、これと入代りに朱紹良所屬の第三路軍第八十八師孫元良、第二十四師許克祥、第七師曾萬鍾、第五十一師および第七十八師丁德隆等の各部隊が前線配備についた爲である、これによつて上海方面の抗日戰線は

▲左翼（劉河、嘉定、太倉、劉行鎭一帶）陳誠、▲中路（江灣、閘北、大場鎭、南翔）朱紹良、▲右翼（浦東、南市、鎭江）張發奎である

閘北の敵陣反覆爆撃す

【上海廿七日發國通】閘北ポケツト地帶の敵は支那軍前線と租界との連絡のため必死となつて陣地の強化を圖りつゝあるので、わが空軍はこれに對し廿七日朝來果敢なる爆撃を繰返してゐる

【上海廿七日發國通至急報】廿七日午後二時艦隊報道部發表＝海軍航空隊の一部は閘北各地區の敵陣地に對し反覆爆撃を加へつゝあり

揚行鎭附近敵陣地

月浦鎭附近敵陣地

高松兵曹殊勳の撮影

楊行鎭、月浦鎭の敵狀偵察、爆撃行に果敢なる低空飛行を試み輝やかしき殊勳の空中撮影を行ふと同時に敵彈に名譽の戰死をした高松兵曹の遺したこの寫眞は松井最高指揮官をして感嘆させたものである（寫眞上は楊行鎭　下は月浦鎭）

我新鋭器の前には
土饅頭トーチカ木葉微塵
姚官屯に敵陣廢墟を見る

【滄州廿七日國通特派員發】滄州戰線において皇軍を大いに惱したのは敵のトーチカであつたが、外見支那によくある土饅頭に似てゐるので、その發見はなか〳〵困難だ、進撃するわが軍を突如この中からばら〳〵と重機關銃で横薙ぎにする、これにひつかゝると必ず犠牲者が出たものだ、記者は敵の爆破した興濟鎭、滄州間の鐵道修理が廿六日拂曉やうやく完了したのでトーチカを見るべく初發軍用列車に便乘した、敵が頑強に抵抗した姚官屯驛に着く、驛ホームの電燈に木柵に彈痕が無數に殘つてゐる

驛見物は何處が驛舍か驛員宿舍か分らぬまでに破壞されてゐる、射撃壕の內外の邊りに仰向けに小銃を握り齒を食ひしばり或は伏して土をつかんだ敵の死體がごろ〳〵と轉がつてゐる、壕のあるところわづかの凹所のかげは死體また死體だ、激戰の程がしのばれる、水壕のあたり鐵條網を前に目的のトーチカがあつた、土饅頭は半ば崩れ、土の中から人間の手が足がにょきにょきと生へてゐるといふよりほかに言ひやうがない、わが飛行機の爆撃か、〇〇砲の砲撃で潰滅されたものであらう、トーチカの入口を見て驚いた、厚さ一米半にも及ぶコンクリートの箱を作りその上に鐵管に土をつめて重ね、またその上から土をかぶせてあるのだ、これでは〇〇砲の威力も僅に周圍の敵兵を吹飛し上の土を崩すだけに終つたわけだ、內部は少しも痛んでゐない、天井といはず、壁面といはず血がぽとぽとしづて床には死體が折重つてゐる『突撃でとるより仕方がなかつたのです、この穴から手榴彈を投げ込んでおいて突込みました』と小さい銃眼を指して沈痛な說明をしてゐる准尉がある、當夜突撃した一人だらう、燦々と輝く白晝の太陽の下に出ても今までと別の世界に居るやうな氣がして記者の背中を冷いものが走つた

敵ながら憐れ
慘酷鬼畜に勝る督戰隊

【滄州廿七日發國通】敵が二ヶ年の日子を費して構築し難攻不落を誇つた滄州縣城も、わが軍の猛攻撃には一たまりもなく三日三晩で陷落したが滄州落城の裏には敵ながら哀れを催す次のやうな話がある

滄州を一擧に粉碎せんとする赤柴部隊が廿四日西華園の敵陣地を占領した時である、巾五米、長さ二百米の敵の塹壕內には敵兵が折重つて仆れ、その數約二百、文字通り屍山血河の修羅場と化し、二目と見られぬ慘狀を呈してゐた

餘りにも頑強に抵抗したので赤柴部隊の將校が敵軍の屍體を檢分して見ると不思議なことには支那兵のすべてが申合せたやうに口に赤い布を咥へて死んでゐた

赤い布には何れも親の名が書いてあつた、どうせ死ぬなら屍體になつて早く戰爭の苦痛から逃れた方がましだ、父親の許に行かうといふ悲痛な心情なのだ、並居るわが將兵達もホロリとさせられた

これと似通つた話がある

東華園附近の敵陣攻撃の時卅米、廿米と日本軍が接近してもいつかな敵兵は逃げやうとしない、敵陣地からは益々激しく機關銃の齊射をして來る、遂に突撃となつてわが軍が塹壕內に躍り込んで見ると一人一人の脚には重い鐵の足枷がかけられて、中央より派遣された督戰隊が一兵でも退却させずにうまく使ふと言ふ鬼畜にも等しい慘酷な仕業なのであつた、同胞をも殺さうとする支那軍の慘忍性には今更驚かされる

督戰隊といへばこれはまた細胞組織になつて部隊の中に喰ひ込み兵は勿論小隊長、中隊長、大隊長に至るまでが嚴重に監視され、背部にはピストルをもつて眼が光つてゐる、逃げやうものならすぐ銃殺だ

姚官屯の攻撃におぢけついた支那軍の某旅團長が馬にまたがつて一散に後方に逃げるところを督戰隊につかまり「退却は將兵の如何を問はず一律に銃殺だ」その場で遂に殺されてしまつた

滄州城退却の時は督戰隊も一齊にわれ先にと逃げたのだつた時には彈丸も食糧もなく退却に次ぐ退却で將校連は支那がいくら力んでも日本に勝つわけはないと泣言を並べながら逃げてたさうだ

上海流民七十萬
飢ゑと恐怖におびえつゝ
南京政權に怨嗟の聲昂る

【上海廿七日發國通】日支交戰の渦中にある上海附近の住民は糧道を絶たれた支那兵のために掠奪せられ飢えと恐怖におびえつゝ雜難してゐるがその數は目下蘇州河以南の共同租界に蝟集せるものだけでも約廿萬、佛租界並びに南市に卅萬、最近第一線の太倉、嘉定附近に逐はれたもの二萬總計五十數萬に達してをり、事變前から兩租界に流浪してゐた窮民を合すれば約七十萬に上ると稱せらる、これら難民の收容所は兩租界を通じて約百廿ヶ所設けられてゐるがその收容人員は僅かに六萬にすぎず、職と糧を失つた流民の大部分は街頭にあふれて危險な空氣を孕んでゐる、しかも誤れる抗日政策の犠牲となり塗炭の苦をなめつゝあることれら流民は日々その數を增加してをり、南京政府に對する怨嗟の聲は漸く昂まりつゝある

支那良民等日の丸に頬ずり

【楊行鎭廿七日發國通】廿七日楊行鎭前方にあつて支那兵のあくなき掠奪暴行のもとに數日間食物もなく戰々兢々として其の日を過してゐた支那農民老人、婦女子約二百名はわが軍の王丸房無電臺の占據により日の丸に頬ずりして喜んだ、わが〇〇隊員は直ちにこれら良民を同日午後一旦楊行鎭に集め充分食物を與へ幼兒にはミルクを與へていたはつた、なほこれ等農民達は近くわが兵保護のもとに後方に送つて安樂な集團生活を營ますこととなつた

危急を救ふ
軍用犬ミツキー號

【〇〇前線にて廿七日發國通】去る廿一日羅店鎭西北方老徐宅において高橋部隊は敵五十八、五十九の兩師の大部隊と遭遇戰を展開、齋藤新大尉等十數名の戰死傷者を出しながら大敵を退け、〇〇部隊の前進を容易ならしめたが、戰捷の蔭に軍用犬の決死的活躍が秘められてゐることが高橋部隊長の口から初めて洩らされた

當時同部隊後藤隊は第一線にあつて敵の重圍を受け、部隊本部に連絡する通信線は追撃砲により各所で切斷され、後藤隊の運命が危ぶまれたが、死をもつて救つたのは同隊附軍用犬ミツキー號であつた

高橋部隊長は巧みに銃火を避け通信筒を背負ひ彈丸の如く驅けこんだミツキー號を抱き寄せ

「偉いぞ！」

と心からの賞讚を與へその通信により直ちに隊の前進を命じ後藤隊の急を救ひ敵部隊を潰滅し、大捷を博したのだ、因にミツキー號は原隊への歸途何宅附近にて悲運にも迫撃砲に見舞はれ壯烈なる爆死を遂げ原軍曹の情で鄭重に葬られたが、首輪はその勳功を語る記念として高橋部隊長の机上に安置されてゐる、ミツキー號は台中市林清輝氏飼育のシエパード種である

樂昌、義昌間爆破

【上海廿七日發國通】海軍報道部發表＝廿七日午前十一時頃わが海軍航空隊〇〇機は粤漢線路を樂昌、義昌間において爆破せり

硫酸工場爆破

【上海廿七日發國通】廿七日午前十一時卅分艦隊報道部發表＝本日午後十時〇〇海軍航空隊は南京郊外にある硫酸工場を爆破せり

再び河間を猛空爆敢行

【天津廿七日發國通】廿六日河間、獻縣、阜城に對して猛烈な爆撃を敢行し敵に多大の損害を與へたわが空軍部隊は、河間に敵の第百七師および第百八師の敗殘兵部隊が集結してゐるとの報に廿七日午前八時五十分、更に中富部隊笹尾部隊の〇〇機〇機編成で河間に對し痛烈なる爆撃を敢行、また倉持部隊の〇〇機〇機編隊も引續き河間を爆撃した、敵は高射砲を亂射しわれに應戰したが、わが〇〇機は損傷なく任務を遂行した

復州、泊頭鎭敵部隊

【天津廿七日發國通】廿六日午後わが〇〇機は銀翼に陽光を浴びつゝ悠々澄渡つた秋空を衝き泊頭鎭、復州方面へ邁進出發、わが地上部隊の猛前進に協同動作をとりつゝ該兩據地の要衝に爆彈〇〇個を投下、敵部隊の前進に大打撃を與へ、歸還の途中地上部隊に敵狀を通信筒により報告し、無事〇〇根據地へ歸還した

愛機諸共敵陣突入
壯烈、澁谷機の五勇士

【〇〇根據地にて廿七日發國通】去る廿二日滄州に至る津浦線上を退却中の敵を求めてこれを爆撃すべく命をうけた高谷部隊の澁谷中尉（四十七期生）は、〇〇機に乘つて廿七日午後二時勇躍〇〇根據地を出發した

滄州陣地を粉碎された敵は一路泊頭鎭、德州方面に退却しつゝあり、わが機は午後三時近く泊頭鎭附近上空に差しかゝり敵敗殘兵の有力集團を發見、それつとばかり下降旋回すれば敵は早くも散開して發砲した、パクパクと小銃彈が近くに飛來するが巧に機銃を避け、『何を小癪な』と兵目がけて猛爆すれば黑煙と共に敵兵は吹き飛び陣地から四散する、わが機はついで地上の掃射に移つた、機上の機關銃は眞赤に火を發し敵兵はバタバタと倒れる、まさに猛烈な敵掃射た

機戰まさに卅分、このとき不幸！敵彈はわが機に命中機は火を發して了つた、根據地に引返す用意はなくこゝにおいて澁谷中尉は最早これまでと敵軍の眞只中に突つこみ機もろとも猛烈なる名譽の戰死をとげたのだ、同機には波浮曹長、番匠軍曹、山元、高萩兩上等兵が同乘してゐたが、何れも名譽の戰死をとげたものとみられる、澁谷中尉は溫厚篤實の士で、少年兵などから慈父の教官として慕はれた人であるが、同中尉の名譽の戰死を知つた島谷部隊では一同憤慨、きつと仇を討つぞと誓つてゐる、同所の地上掃射に當つては死を賭して參加を申出でる兵が多く、全く自分の肉親の恨みを晴らすやうな意氣に隊長以下を感激させてゐる

津浦線方面戰況
辛庄、南各營奪取

【天津廿七日發國通】天津軍司令部二十七日午後二時三十分發表

一、津浦線方面のわが桑田部隊は二十七日午前十一時瀛家口（滄州西南方約五里）に進出せり

一、子牙河方面においては二十六日午後二時頃沙河橋附近の敵陣地を突破し、二十七日午前十時頃わが助川、大野等の諸部隊は辛庄、南各營（獻縣東北方約四里）の線に達して敵を追撃前進中なり

江蘇、浙江省
乾繭輸出稅引下

【上海廿七日發國通】江蘇、浙江兩省內の生糸工場は時局の影響により殆ど全部操業停止の已むなきに陷つてゐるが一方これ等兩省の秋繭は頗る豐作を告げ繭の供給過剩を見るに至つたので財政部は廿七日より乾繭の輸出稅を百キロにつき四十二元から廿八元に引下げる旨發表した

廣東を空襲
軍事施設爆撃

【香港廿七日發國通】廿七日拂曉零時五十五分わが飛行機〇〇機は廣東を空襲しうち〇機をもつて黃埔を襲ひ同地の軍艦および附近の軍事施設を約一時間半にわたり爆撃、他の〇機は廣東市上空において敵機の襲來を牽制し無事根據地に歸還した

輸送機關は完全に杜絶

【香港廿七日發國通】二十七日朝の廣東上空には支那飛行機の姿は見えず廣東の制空權は完全にわが軍の手に歸しわが空軍は悠々旋回を續けて敵軍事施設および武器輸送船の破壞を行つたのである

支那軍唯一の武器輸送經路たりし粤漢線の破壞によりひいては揚子江沿岸と外部との連絡も遮斷されることゝなり物資の缺乏は勿論武器機材の輸送も杜絶することゝなつた

廣州を空襲
輸送機關爆撃

【香港廿七日發國通】二十七日午前九時半わが飛行機〇機は突如粤漢線終點驛たる廣州驛上空に現はれ爆彈を投下、さらに同十時半〇機編隊にて再び飛來各軍需輸送機關に爆撃を加へた、廣州驛は三ヶ所から火を發し目下延燒中である

快速！遠山部隊
大冊河敵壘蹴散らし
保定快捷の因を作る

【北平廿七日發國通】敵の重要根據地保定陷るとみるや、皇軍各部隊は早くも河北平原中央に進出、その迅速果敢な行動は目覺しいものがあるが特に遠山部隊の大冊河岸の敵堅壘奪取戰はわが作戰遂行上多大の效果を與へた偉功として讃へられてゐる

大冊河岸の砦は、敵が保定防備最後の陣地として堅壘を誇つてゐたもので三重、四重の塹壕をもつて圍まれ、これに中央軍數ヶ師團を配備し水も洩らさぬ防禦陣地を張つてゐたが、殊に黃村を中心とする東賓臺、後代流の堡壘には中央軍の精鋭第一師が據つて日本軍來れと待ち構へてゐた

これに對し〇〇部隊は徒歩快速隊として謳はれ一日十里、十五里を進撃するのでタンク、野砲の如き新鋭武器も北支特有の泥濘に足を阻まれ同部隊より遙か後方にあつた、廿一日夕刻遠山部隊長は之等の掩護射撃なくしてチエツコ機關銃、迫撃砲、高射砲等多數を有する第一師に對し果敢にも攻撃を開始した、敵は三重の堡壘より砲彈を洪水の如く射出したが、我部隊は鹿島〇〇部隊を先頭に對岸小曲城より肅々と渡河に移つたのであつた、深さ一米以上にも及ぶ激流は胸をつき首を洗つて見る見る鹿島部隊の一部は下流に押流され苦戰を重ねてゐる、午前三時齋藤部隊長の率ゐる一部は敵の右翼百米に迫り敵は猛射を浴せかけたが同部隊は一擧に押し進んで敵の背後を衝き三角形を形づくり悲壯なる喊聲とゝもに猛烈なる突撃を開始した

敵は三方より必死の猛撃を浴せかけたが、わが軍は物かのひるみも見せず遂に第一線突破に成功したのであつた

かくて先づ右翼を占據し廿二日午前四時には左翼を突破しわが軍の占據するところとなつたが、敵兵はなほも夜明け迄に數十回の逆襲を繰返し稀に見る頑強さをもつて抵抗した、處が明けはなれて見渡せば敵味方が幾重にも入亂れて敵の背後に味方あり、更にその背後に敵兵が射撃の姿勢をとつてゐるといふ混戰狀態を現出してゐた、かくて午前八時半わが軍はさしもの難戰にも打勝つて黃村を占據、四圍の望樓を叩きつぶして旭光とゝもに勝利の喊聲を張りあげたのであつた

この勢に呑まれた敵は潮の引く樣に保定後方に向つてなだれ込んだが、保定後方遮斷の重要任務を有する遠山部隊は潰走する敵を追はず、之と併行に七、八百米の間隔を置いて進二無二突進、遂に保定占領の有力な鍵を確保した、この戰鬪において齋藤大尉は數彈を受けて名譽の戰死を遂げ、佐藤勳隊長もまた頭部に負傷し、他に戰死傷者〇〇名を出した

殘敵を追撃
山砲、彈藥等を鹵獲

【保定廿七日發國通】稻木部隊の澤村軍曹以下四名の斥候は廿六日正午過ぎ黃坨（保定南方八キロ）附近に達した時前方部落に敵兵のあるを知り警戒を嚴にして前進中、部落西側路面上に山砲一門あるを發見してこれを鹵獲した、なほ同村の東端に達した時更に前方部落東側に敵が山砲三門を殘して退却中なるを知り直ちに下馬し部下とゝもにこれを攻撃、激戰約一時間にして敵を撃退潰亂せしめ、澤村軍曹以下直ちに山砲四門、彈藥車二輛、その他通信器具、重要書類等を鹵獲宿營地に歸還した

ソ聯極東軍總司令部
イルクーツク移轉か

滿ソ國境線に尨大なる軍備を配置し極東侵略の野望達成に狂奔しつゝあるソ聯政府は支那事變勃發以來後一流の[illegible]極まる常套手段を弄し盛に裏面的策動を續け極東赤化およびソ聯勢力の扶植工作に全力を傾注するとゝもに他方赤色極東軍の擴充強化に狂奔し、その根本的編成改革を斷行せる事實が暴露した

すなはち當地某所に達した情報によれば先月末蒙古庫倫駐屯軍檢閱を終へハバロフスクに歸着せるブリユツヘル元帥は日支事變勃發に伴ふ東亞政局の激變對策としてソ聯特別赤色極東軍の編成強化を企圖し兇集師制を採用、沿海、黑龍、ホロンバイル、蒙古の四個集團を新設し既に各司令官の任命を終り彼自身は總司令官として權力を振ひつゝありなほ總司令部をハバロフスクよりイルクーツクに移したと傳へられてゐる

高橋部隊戰死者

【〇〇廿七日發國通】高橋部隊の戰死者左の如し

▲廿三日　一等兵北嶋正辰
▲廿四日　一等兵渡邊利夫
▲廿四日　上等兵吉田幸義
▲廿五日　一等兵森榮雄、上等兵福田盛義、一等兵西市太郎

司法部人事

廿七日の第五十四回國務院會議において左の人事が可決された

最高檢察廳檢察官　李寶書
昇敍簡任二等　檢察官　李寶書
依願免官

人事往來

▲內田乘太郎氏（機械商）廿七日來京ヤマトホテル
▲林隆一氏（國際觀光京城支店長）同
▲田光計助氏（日滿商事社員）同
▲森國吉氏（會社員）同
▲稻垣道春氏（同）同
▲和田龍三郎氏（同）同
▲中野俊助氏（同）同
▲曹山新藏氏（會社員）同向陽ホテル
▲井澤義光氏（參議院守衞長）同
▲鹽見峯治氏（錦赤鐵道專務）同都ホテル

各地から新京へ來る人々は異口同音に"新京は靜かですね"と仰言る▼これは新京は王道樂土で天下泰平だと褒む言葉にも解されるし▼此の非常時に拘らず新京は餘りにも無關心過ぎると揶揄する言葉にも解されるが人々の言はんとするのはどうも後者のやうに考へられる▼支那軍が北支の興廢を一戰にかけてゐた言はば支那の天下分目の戰でもある保定陷落の報に國都市民の者にたて祝電を打つ者もなく▼神社へ戰捷奉告をなすでもなく國旗を掲げ提灯行列など思ひも寄らぬといつた態だ▼無論此の際お祭り騷ぎをすることは大いに愼むべきことではあるが銃後のこの冷淡さは出動將兵に對して餘りにも申譯ない▼新京にはかゝる秋にこそ市民を率ひる或る機關があるはずだが一體如何してゐるのかと言ひたい▼冷氣日一日と加はり市內の高級洋店は數百金を投じ毛皮を求める顧客で賑ひ▼太子堂の[illegible]大賣出し洋服オーダァはプロ級のお客で忽ち賣切れ▼非常時下のその對照を何と見る▼銃後の國民に要す言葉は[illegible]を垂れてこそ初めて效果あるを知らずや

社説

ソ聯の支那援助問題

一

さきにソ聯と支那との間に不可侵條約が締結されたのについては、必ずやその背後に別に密約の有すべきことが想像されたのであつた。果然最近の報道によつて、莫大な武器をソ聯が支那に供給する事を約した密約が成り立つに至つたことが報ぜられてゐる。この密約はボロヂンの南京入りによつて大いに促進されたものゝ如く、形式上は支那共産黨代表周恩來とレーピン將軍との間に結ばれ國民政府これを承認するといふ方式を取つてゐるやうである。形式如何は兎も角、その内容は一應われらとしても注目し置く必要があるであらう。

二

右條約の主たる内容は、ソ聯が支那に供給すべき兵器、軍需品について詳細を規定したものであつて、そのほか必要に應じ義勇兵及び技術家を派遣することをも定めてゐるといふ。その内、九月下旬より十二月までに交附すべき品目は飛行機三百六十二台、高射砲百門、小銃十五萬挺、小銃彈六千萬發・裝甲車一千五百台等を含んでゐると報ぜられてゐる。而して支那はソ聯の援助に對して交換的に、支那としてコミンテルンの最高方針に從ひその活動を許容する、外蒙並びに新疆に於けるソ聯の軍事上、經濟上、政治上に於ける自由な活動およびその結果を承認する、ソ聯に對しシベリヤより外蒙、新疆甘肅を經て支那本部に通ずる鐵道敷設權その他北支に於ける利權を附與する、對日工作に成功した後はソ聯の援助により他國の在支勢力を逐次驅逐する等の件を約束して居るといふのである。なほソ支共同して、日支紛爭に列國の國際干渉を導くべき諸工作を行はうとし、ソ支不可侵條約を英佛をも包含するやう擴大せんとする意圖をも示してゐる事は注視すべきであらう。

三

條約の内容が約束された如く履行され得るものとすればソ聯の得る代償はその莫大なる武器供給を大いに償ひ得て餘りあるものと言ひ得るであらう。だが外蒙、新疆等に於ける問題は別として、その他の項目に於いては決して容易に實現され得ぬものが存することが明白である。蓋し防共協定の破壞を目的とする如き紛爭を東洋に於いて彼等が惹起せしめるとすればそれは直ちに最も强硬な徹底的な反撃を蒙らないでは濟まぬからである。たゞ斯くの如き成果が得られずとも、ソ聯はその武器、軍需品の輸出に對して代金の支拂を受けるのであり、別に損することはない。この條約は、相互援助條約といふより、まさに特殊通商條約といふにふさはしく、ソ聯經濟の繁榮のためには相當寄與し得るであらうと見て置きたい

我海軍機の爆撃は軍事施設が目標

海軍武官より闡明

【上海廿七日發國通】本田海軍武官は廿六日外人記者團との會見においてわが海軍航空隊の爆撃は敵の軍事施設に對してのみ用意周到に行はれたものであつて支那側の宣傳しつゝあるが如く一般民衆に危害を及ぼすやうなことなき旨を左の如く項目を掲げて闡明した

一、爆撃目標は軍隊・軍事工作物、軍事關係、政府關係、軍事關係工場、通信、運輸船なり

二、第三國人居住地域及び第三國人の財産ならびに一般支那普通人は目標とせず

三、わが爆撃の命中度の良好は列國これを認めまた編隊爆撃は目標を誤らざるためであり、且つ南京空襲に際して相當の犠牲を拂つたのも目標外に損害を及ぼさゞるやう注意したゝめである

なほ本田武官は支那側が爆撃免除物件を軍事上に利用しつゝある非人道的奸策を指摘した

敵陣迄長壕築き土龍戰術の奇襲

沈家灣占據に高橋部隊殊勳

【〇〇前線にて廿七日國通特派員發】文字通りの挺身部隊上海〇〇戰線に活躍を續ける高橋〇隊は土龍戰術をもつて羅店鎭西方に輝かしい手柄を樹てた、すなはち高橋〇隊は左翼部隊の攻撃を容易ならしめるべく劉河鎭、嘉定街道を押へた際、敵の要害王家宅、沈家灣攻略の島田中隊に廿三日正午先づ嘉定街道西側より王家宅まで八百米に亘る長距離の交通壕を築造しつゝ進撃するといふ古今未曾有の前進作戰を命じて敵陣に迫らしむるとゝもに、廿四日夕刻より鶴田隊の島田武男少尉に僅か十數名の兵を與へ將校斥候を命じた、島田少尉は地雷源を縫ふて敵の敷設した地雷火を除去し時には巾廿米深さ二米のクリークに五時間も身を潜めて目と鼻だけを出して敵狀を探ぐる等敵狀偵察に見事成功したので高橋〇隊長は廿五日黎明と共に決然と追撃を下命した、この地下行進は見事に極つて奇想天外の奇襲に狼狽した敵は銃器彈藥多數を拋棄してもろくも王家宅から敗退、勝に乘じて敗走する敵を追撃しつゝさらに沈家灣をも占據し殆んど時を同じふして沈家灣に入城した和知部隊との間に河を隔てた兩隊の歴史的握手が交はされた、この戰鬪における高橋〇隊の損害僅かに輕傷二名、まさに大殊勳といふべきである

胸の敵彈その儘 高橋大尉の奮戰

【上海廿七日發國通】羅店鎭南方白墨館攻撃は歩、砲、工三部隊の密接なる協力が完全に奏效した結果で、特に勇敢に戰車數臺を敵の直前に進めた戰車砲は敵の砲撃により相當の損害を受けたにも拘らず敢然敵前に頑張つて敵に猛射撃を與へた高橋部隊の活躍には和知部隊長も感激してゐる、部隊長高橋清吾大尉は數日前敵の銃彈を胸部に受け、野戰病院にて療養中であつたが、總攻撃の命降ると聞くや病床にぢつとしてをれず敵の銃彈を胸に留めたまゝ戰車に搭乘戰鬪の指揮に當つたもので、その勇壯ぶりは賞讃されてゐる

經文を高唱されて敵兵手も出ず

快和尚、悠々敵の重圍突破

【北平廿七日發國通】敵軍重圍のなかを墨染の衣を身にまとひ悠々と夜、晝を分たず單身從軍した快僧がある、この快和尚は東京市中野區鷺宮千藏院兼茨城縣磯濱町金剛院住職櫻井榮章師で戰歿者供養のため志願僧として〇〇部隊に從軍したが、和尚の體では一日十數里長驅する部隊に追付けずいつの間にかこれも難路のため常に遅れがちになる〇〇の荷物車の介添として部隊に遅れること數里敗殘兵重圍の中を高らかに經文を唱へながら深夜までゴトゴトと〇〇のあとを追つてゐた、このため二週間の中に敵に七、八回襲撃されたが武器一つ身に帶びぬ和尚は何等抵抗の色を見せずますます高らかに經文を唱へるので慘忍なる敵兵も氣を呑まれて手を出せなかつたといふ、和尚のこの徹底ぶりは何時の間にか〇〇の話題となり賑やかに語り傳へられてゐる

工場事業場管理令

【東京國通】陸海軍兩省では今次支那事變に對處して我國軍需工業一部の非常管理を行ふことになり曩の臨時議會で決定した法律案に基き軍需工業動員法第二條を發動し左の如く工場事業場管理令案を決定、二十五日公布、即日施行した

工場事業場管理令

第一條　軍需工業動員法第二條の規定に依る工場及び事業場並にその附屬設備（以下工場事業場と稱す）の管理に付ては本令の定むる所に依る

第二條　主務大臣工場事業場を管理せんとするときは内閣總理大臣に協議すべし

第三條　管理は主務大臣の發する管理令書送達の時より開始す、但し管理令書を以て別段の定を爲したる場合はこの限に在らず

管理令書の送達は管理すべき工場事業場の事業主に對しこれを爲す、但し已むを得ざる場合においては工場事業場の長その他これに準ずる者に對しこれを爲すことを得

第四條　管理令書には左の事項を記載すべし

一、工場事業場の名稱及び所在の場所

二、管理の範圍

三、第十三條の規定により主務大臣の職權の一部を行ふ官衙の長あるときはその長及びその職權の範圍

四、監理官の官職氏名

五、その他必要と認むる事項

第五條　第二條及び第三條の規定は管理の範圍を變更し又は管理を廢止する場合にこれを準用す

第三條第二項の規定は前條第三號乃至第五號の事項に變更ありたる場合に之を準用す

第六條　主務大臣はその管理に係る工場事業場における軍需品又は軍需品の生產若は修理に要する原料、燃料電力若は動力の生產、修理又は發生に關し當該工場事業場の業務に付事業主を指揮監督す

第七條　主務大臣はその管理に係る工場事業場に付監理官を置き當該工場事業場の業務の監督に從事せしむ

第八條　管理に係る工場事業場の事業主當該工場事業場の經營を廢止し又は休止せんとするときは主務大臣の許可を受くべし

第九條　管理に係る工場事業場の事業主は本令又は本令に依る命令の適用に付事業主に代るべき事業管理人を選任することを得

主務大臣必要ありと認むるときは事業主に對し事業管理人の選任を命ずる事を得

事業主左の各號の一に該當する場合においては事業管理人を選任することを要す

一、法人なるとき

二、營業に關し成年者と同一の能力を有せざる未成年者又は禁治產者なるとき

三、本令施行地に居住せざるとき

事業管理人の選任及び解任は主務大臣の認可を受くるに非ざれば其效力を生せず

第二項及び第三項の場合において事業主事業管理人を選任せず、または選任すること能はざるときは主務大臣は工場事業場の經營につき權限を有する者の中より事業管理人を選任することを得

第十條　事業管理人が本令又は本令による命令に違反したるときは主務大臣はこれを解任することを得

第十一條　工場事業場の管理に因り生じたる損害の補償を請求せんとする者は管理廢止の後命令の定むる所によりこれを請求すべし、但し主務大臣の定むる所により毎年事業年度の終りたる後又は損害の生じたる都度これを請求することを得

第十二條　管理に係る工場事業場の經營を承繼する者は本令又は本令による命令に基く前者の權利義務を承繼す

第十三條　主務大臣は本令による管理に係る工場事業場に對する職權の一部を所轄官衙の長をして行はしむることを得

前項の場合において當該官衙の長は主務大臣の定むるところにより前項の規定による職權を其所轄官衙の長をして行はしむることを得

第十四條　本令中主務大臣とあるは軍事上特に必要ある工場事業場については陸軍大臣又は海軍大臣とす

前項の場合を除くの外本令中主務大臣とあるは朝鮮、臺灣、關東州及び南滿洲鐵道附屬地または樺太にありては各朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使または樺太廳長官とす

附　則

本令は公布の日よりこれを施行す

日本軍を誣告

支那、ソ聯の干渉要請

【モスクワ廿六日發國通】支那政府は各戰線よりの頻々たる敗報に狼狽し在外機關を總動員して諸外國に對する哀訴的宣傳に狂奔してゐるが、廿六日タス通信社の發表によれば、支那政府は果然廿五日モスクワ駐劄支那大使館を通じて外務人員委員部に通牒を發り日本軍の行動に關し誣告を試みるとゝもにソヴイエト政府の干渉を要請したことが判明した

装甲列車に接近 困憊の敵兵

櫻井少佐談

【保定廿六日發國通】敵装甲列車をぶんどつて廿四日敵陣の眞只中に突入し保定一番乘りを敢行した廣安門の勇者櫻井少佐を陣中に訪へば、はち切れるばかりに健康を恢復し血色もよく、松葉杖をステッキに變へてゐる、同少佐は語る

廿三日敵の第一線を突破して保定城間近に迫つたが前後左右から敵の猛射を受けた最前線で一夜を明かしたが、間斷なく敵の射撃を受けた廿四日早朝再度敵陣奥深く突入して停車場についた、敵は前後から盛んに迫撃砲を射つが十發に二發位しか爆發せず、それもわが軍の頭を越えて後方で爆發するばかりだつた、悲壯だつたのは無蓋車で指揮中敵彈に貫かれた秋山准尉で「仇をとつて呉れ」と二言繰返したまゝ保定を睨みながら息をひきとつた、敵が装甲列車で逃げるのを追つて保定城まで突き進んだが、敵は文字通り潰走、線路の兩側には彈藥、機關銃、鐵兜等無數に遺棄されてをり敵は身につけたものを全部すてゝ逃げ去つたものらしい、途中で敵一名を捕虜としたがフラフラになつて友軍の車と思つて助けを求めに來たのである、又凡そ六七十名の敵を捕虜にしたが疲勞困憊全く行軍能力を失ひ何も持つてゐなかつた

企畫廳資源局改組案けふ閣議へ

【東京國通】政府は内閣企畫廳並びに資源局を改組して時局に對應すべき新機構の下に統合強化することになり、過般來關係各相間に協議を進めてゐたところ大體意見の一致をみたので、二十八日の定例閣議に右改組統合方針を附議し新機關の大綱を決定する段取りとなつた、なほ閣議決定の上は直ちに改組委員會を設け具體的組織を審議することゝなつてゐるが、新機關の開設は極めて急速を要するので來月上旬までには官制案の決定をみることにならう

閣議決定事項

廿七日午後二時よりの定例國務院會議において可決された主なる事項左の如し

一、映畫法　映畫の政治的、社會的乃至思想的宣傳用具としての使命の重大性に鑑み從來の警察的取締の外新に映畫の製作、輸出入配給上映等の全般に亘りその指導統制を目的とする映畫法を制定し以て映畫の有する特質を發揮せしめんとするもの

二、過料手續法　民法、會社法その他各種の法規には過料處分に關する規定を設ける必要あるによる

三、棉花統制法　重要產物たる棉花の改良增產を促進しその生產および配給を統制せんがため本法を制定し以て棉花經營の健全なる發達を圖らんとするものである

驅逐艦隊に代つて航空機第一線へ

米國海軍作戰に劃期的變化

【サンデイゴ廿六日發國通】米國海軍は最近航空機の異常なる發達に鑑み超速航空機をもつて第一線の驅逐艦隊に代位せしめんとする作戰上の劃期的變更を考慮してゐると傳へられるが、海軍當局もこれを確認、目下のところ差迫つた問題ではないが將來航空機の使用增大により作戰上に重大變化が起るだらうと言明した、右に關し米海軍航空界の權威ジヨセフ・キング提督は語る

米海軍は過去の經驗により偵察機が最も優秀なる偵察用兵器である事を證明し得た、從つてわが海軍は最前線にあつて敵艦隊と接觸を保つ偵察機關として將來驅逐艦に代り航空機をもつて代位せしめる計畫である、航空機は偵察、攻撃の兩性能を具備し其攻撃力においては驅逐艦に比し敢へて遜色なく、一方の偵察力は水上艦に比し遙に優秀である新作戰計畫による航空機の使用增大はかくて啻に艦隊の戰鬪力を增加するのみでなくその偵察力をも增加し得ることゝならう

滿洲國映畫法

愈よ十一月一日實施

宣傳戰時代における映畫の持つ役割のますます重大なるに鑑み、滿洲國では曩に國策會社たる滿洲映畫協會の設立を見たが、政府では更に映畫の指導統制を强化するため映畫法を制定、廿七日これが國務院會議の通過を見たので近く參議府の御諮詢を經て來る十月七日勅令をもつて公布、十一月一日より實施することゝなつてゐるが、同法は十八ケ條よりなり、その骨子は左の如くである

一、本法において映畫とは一般の觀覽に供する映畫をいふ、映畫の製作を業とする者は國務總理大臣の許可が必要である、また映畫の輸出入および配給は國務總理大臣の指定したる者に限る

二、輸出又は上映せんとする映畫は治安部大臣の定むる官署の檢閲を經ることが必要である、未現像フィルムは原則として輸出することが出來ない、但し監督官署の承認を經たる場合のみ例外を認める

三、政府において特に必要ありと認めたときは製作業者に内容を指定して映畫の製作を命じまた上映業者にその上映を命ずる場合がある、なほ政府が製作を命じたときは規定により製作業者に對し助成金を交附することが出來る

四、公益に資し且つ特に優秀と政府が認めた國產映畫は審査會議を經てその製作に關與した者に賞金を供與することが出來る

なほ右のほか本法においては違反者に對する罰則が第九條より第十八條にわたつて細かく規定され、例へば無許可製作業者に對しては一年以下の徒刑又は千圓以下の罰金、無檢閲上映者に對しては六ケ月以下の徒刑又は五百圓以下の罰金に處する節以下それぞれ峻嚴な取締規定が設けられてゐるが、前項の本法の優良映畫に對する保護奬勵規定と對照して映畫國策に對する新國家の面目躍如たるものがある

商況欄（二十七日後場）

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一五、六〇	—
豆新	一九、二〇	—
東新	一五、五〇	—
日産	六九、五〇	—
滿鐵	五四、五〇	—
同新	四三、六〇	—
鈴新	三七、六〇	—
日新	五三、五〇	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新取	—	—
東新	一四六、四〇	—
大新	八三、五〇	—
日新	六九、〇〇	—
鈴鐵	五三、六〇	—
五品	一五、七〇	—
豆新	—	—
滿甲	五四、八〇	—
同毛	—	—
電響	—	—
滿業	—	—
日業	六一、五〇	—
電業	—	—
化學	—	—

新京取引市況（廿七日後場）

現物	寄	引	出來高
高粱	—	—	—
米高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
光	—	—	—

●大豆

先物	寄	引	出來高
九月限	六、一八	六、〇九	三二車
十月限	六、二五	六、二三	六五車
十一月限	—	—	—

●高粱

先物	寄	引	出來高
九月限	—	—	—
十月限	—	—	—
十一月限	—	—	—

手形交換高（二十七日）

三六四枚　九二三、六二〇、五四〇

鮮魚小賣相場（九月二十七日）

品名	最高	最低
活鯛	一、一〇	六五
氷小鯛	六五	四二
中小鯛	…	…
カスゴ	…	…
チコ鯛	…	…
チヌ鯛	…	…
蒲子鯛	四五	三八
アマ鯛	四二	四〇
イセエビ	三〇	六五
車エビ	三〇	…
白サエビ	七〇	五三
小エビ	四二	三四
中小エビ	…	…
小スマ	…	…
マコダ	…	…
コロワ	…	…
ブリ	…	…
メジロ	二七	二五
ヤズ	…	…
ヒラス	二〇	…
マアジ	五五	四六
トナス	三三	二八
マス	四〇	二二
サワラ	…	…
サゴシ	…	…
チヌ	三六	三〇
平サワラ	…	…
セイゴ	…	…
スズキ	二五	二一
小アジ	二七	二一
ニベ	二七	…
アジ	二五	二四
サバ	…	…
イトヨリ	…	…
赤ムツ	…	…
ギザミ	…	…
アコウ	…	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
ボラ	二〇	…
スタテ	一六	一五
タコ	四〇	一六
紋甲イカ	…	…
甲イカ	二七	一五
飯蛸	…	…
二番イカ	一四	一三
シイラ	…	…
ヒラメ	…	…
カレイ	三〇	一七
星ガレイ	一四	一三
目高カレイ	…	…
小シイラ	…	…
ダ市	一六	一五
小ボー	一六	一五
ホーボー	…	…
カナガシラ	…	…
イワシ	二三	二〇
コノシロ	一八	一六
ワカシ	…	…
通長	…	…
コチ	一四	八
タナゴ	…	…
オコゼ	三五	一五
ハゲ	三三	二七
シイラ	…	…
サンマ	…	…
太刀魚	一六	一四
キス	五〇	三〇
サヨリ	二三	一五
アナゴ	六五	四〇
ハモ	四六	…
ハゼ	一〇	…
アユ	…	七
白魚	…	…
ウナギ	一、一〇	七五
ドジョウ	八五	六〇
アワビ	…	…
塩サケ	…	…
塩サバ	…	…
黒生子	三四	…
貝柱	四〇	二五
観貝	三〇	二七
赤貝	一三	一〇
カキ	二〇	一五
ムキミ	五〇	二〇
ハマグリ	…	…
カニ	一〇七	六
梅サケ	三三	一五
カマボコ	一六	一五
スト	一三	…
竹輪	一、六〇	六〇
ブリ	一、〇〇	四五
ヒラス	五〇	八五
サバ	六〇	五〇
スズキ	五〇	四〇
ニベ	五〇	四〇
水鯛	一八	一三
ヒラメ	四五	二五
フカ	…	…
垣エイ	…	…
鯨赤身	…	…

北樺太の利權企業に對するソ聯官憲の壓迫
外務省當局談發表

【東京國通】最近北樺太のわが利權企業に對するソ聯官憲の壓迫甚だしきに鑑み、二十五日午後七時外務省では當局談の形式をもつて左の如き聲明をなした

外務省當局談

北樺太におけるわが利權會社たる北樺太石油および北樺太鑛業兩社の企業に對するソ聯官憲の壓迫的態度は近來益々激しくなつて來た即ちソ聯官憲は北樺太石油會社の今年夏季の事業に必要なる邦人勞働者七百四十名の入國を許可せず、ソ聯勞働者約二千名を强制的に雇傭せしめたが、ソ聯側の横車的態度のため勞働者の現場輸送に著しく遲延し事業に甚大なる支障を與へた今回解雇するソ聯人勞働者二千四百名は季節的勞働者で夏季作業を終へて歸國するものである、又七月上旬まで會社船舶の各支所所在地への入港を許さなかつたため各支所は食料物資の缺乏を來し業務上、生活上著しき困難に陷つた、さらに會社が利權契約上の權利に基き申請した、カタングリ油田の產油輸出の海底鐵管敷設にもソ聯側は遂に許可を與へずために同油田のタンクは充滿し、採油は一時中止のやむなきに至り產油計畫に違算を來した、又業務上の事故につきソ聯裁判所は監督の地位にあるものに對して數年の禁錮又は懲役といふ如き不當に過酷なる刑罰を課し、本年四月には長年勤續の優秀從業員たりしソ聯人七名を拘禁してしまつた、石油會社がその本年度の事業計畫に少なからざる支障を來し、ある程度の變更をなすのやむなきに至つたのは以上の如きソ聯の壓迫の結果である

現に北樺太鑛業會社は本年度四百七十五名の邦人勞働者の入ソを申請したが、ソ聯は僅か二百八十二名の入國しか許さぬため採炭計畫に重大なる齟齬を來すに至り、又會社と勞働者との間に雇傭條件を集團的に取り極める所謂團體契約については會社側は幾多の讓歩を行つたが、勞働組合側の賃銀値上その他の要求はますます暴戾で、遂には會社が要求を入れなければストライキを行はしめんとの暴言を吐くに至つた

更に鑛業會社從業員の身邊に延びたソ聯司直の手は頗る峻烈で、業務上の事故のため禁錮、懲役、罰金等の處分をうけゐる者廿名におよび、又本年八月十九名のソ聯從業員が檢擧されたこのため邦人從業員は極度の不安に陷り、歸國希望者續出する有樣で、石炭會社はやむを得ず事業縮小を決意するに至つたが石油の場合も石炭の場合も事業の縮小は何等利權契約違反ではない

以上石油、石炭兩利權會社に對するソ聯官憲の不當なる壓迫に對しては、會社はもとより現地におけるわが領事、又在モスクワ重光大使より屢々ソ聯側に抗議したるに拘らずソ聯側に毫も反省の色がないのであるが利權の基礎となつてゐる日ソ基本條約附屬議定書において、ソ聯政府は利權企業の收益的經營を保證してゐるのであるから以上の樣な企業の正常なる運行を不可能ならしめてゐるソ聯官憲の態度は明かに條約違反といふべきでわが方の絕對に容認し得ざる所である

錦州の電話 自動交換となる

錦州電々支店では最近錦州における電話使用者の激增に伴ひさきに電報電話局舍の新築を行ひ社內に日本電氣會社製シーメンス・ハルスケ自動交換機の工事を急ぎつゝあつたところ廿五日全工事の完了を

通信行政移讓に關し 日滿現地機關の合同協議會
二十七日から三日間開催

關東遞信局所管(關東州內を除く)の通信行政移讓に關する日滿現地機關の合同協議會は廿七日より三日間中銀俱樂部會議室において開催、第一日は午前十時開會、日本側關東遞信局宮本總務課長、金子經理課長外事務官、朝鮮遞信局中村事務官および遞信省より赤羽事務官、滿洲國側李交通部大臣、平井出次長、藤郵政總局長、岡本副局長外各科長、事務官等出席、具體案の協議に入つたが、三日間の日程は左の如くである

一、滿洲國郵政保險實施に關する件
二、業務協定の件
三、郵政業務に關する件
四、分科會設立
　イ、郵政關係
　ロ、爲替儲金關係
　ハ、電氣通信關係
　ニ、經理關係
五、總會各分科會協議事項の報告
六、決議

日暹修好五十年 祝賀晩餐會

【東京國通】日暹修好開始以來滿五十年の二十六日は通商宣言調印の記念日に當るので祝賀晩餐會が暹羅協會主催で午後七時半から華族會館で催された、同協會長たる近衞首相、廣田外相、米內海相、暹羅公使クラサ氏はじめ朝野の名士約百名參集し近衞首相の挨拶についで暹羅公使の挨拶さらに廣田外相の日暹修好の强化親善を强調する挨拶があり盛會裡に交驩の盃をあげ同八時半散會した

奉天に 屠宰場、家畜市場を新設

奉天市公署では一ヶ年取引額三百五十萬圓に達する管內家畜業助成ならびに屠殺場衞生施設改善の見地から市內に一大屠宰場ならびに家畜市場を新設することになり既に經費六十萬圓を以つて鐵西皇姑屯西方十五萬平方米の敷地に去る六月着工市內工業區、大東門外、西工業區、皇姑屯の四ヶ所に新設中の牛肉卸賣市場と共に來る十一月中に工事を完了、十二月一日から一齊に店開きの運びとなつた、同屠宰場の建築面積二千四百平方米その規模と內部施設は全滿一を誇るものである、新屠宰場を中心に構內に設けられた膨大の家畜市場ならびに市內四ヶ所の牛肉卸賣市場がチェーン・システムにより全市の家畜および肉類取引を一手に引受け合理的經營をなさんとす

帝制擁護 廿周年記念

奉天白露事務局で舉行セミヨノフ將軍の帝制擁護廿周年記念日を迎へた奉天白系露人事務局では全滿各地の白系露人と相呼應しこの歷史的記念日を有意義ならしむべく廿六日午前十時から市內西塔正教寺院においてコロレフ事務局長以下多數局員參集、ソ聯革命當時セミヨノフ將軍の麾下にあつて帝制擁護の犧牲となつた勇士の慰靈祈禱會を盛大に執行、引續き午後六時より同事務局において記念講演會を開きセミヨノフ將軍の勳功を讚へるとゝもに在滿白系露人の時局に對する認識と覺悟を新たにした

童心の慰問 圖畫一萬枚發送

【東京國通】支那事變に活躍する皇軍將士を幼き童心によつて慰問するため東京市教育局では全市二十六ヶ所の圖書館を通じて閲覽兒童からパステル畫、クレヨン畫、鉛筆畫水彩畫等を募集中であつたがこの程約一萬枚集つたので近く現地へ發送する事となつた

見たので廿六日午前零時を期して新舊交換切替式を行つた

獨、八月中の 滿洲大豆輸入高

駐滿ドイツ通商代表部發表によれば八月中におけるドイツの滿洲大豆輸入高は二八・七二七噸、三・三八〇・〇〇〇ライヒスマルクで、一月以降八月までの累計は三五九・二九二噸、三七・九八四・〇〇〇ライヒスマルクである

全滿陸上選手權大會 新京出場選手 來る一日征途へ

南滿洲陸上競技會主催の全滿陸上選手權大會豫選は明治神宮體育大會豫選をも兼ねて大連運動場において催されるが同大會參加の女子選手五名(敷島高女生)は酒井教諭、引率され來る一日はとで、同じく男子選手五名は同日午後九時四十分發列車で夫々新京驛發遠征の途につく筈、選手氏名左の如し

△男子

山口德光(新京商)高宗達(新京中)橋本左近(新京アスレティック)尹景鎬(同)山下宗(同)

△女子

渡邊愛子(敷島高女)高倉百合子(同)高石信惠(同)平田美津代(同)雷谷靜江(同)

情ない軍事郵便

北平に野戰郵便局が出來た時不安心な支那郵便を使はないで第一線と家庭との連絡が取れると喜んだのは第一線の將兵は固より在住邦人も一緒にこをどりして喜んだ。

アア其なのに其なのにだ、新京に屆いた手紙が、附屬地外は「區域外」として逆送されて來る、之が爲めに出した筈の手紙は屆かず、家庭からはどうしてゐるか心配すると電報が來る仕末、あゝ何たる馬鹿々々しさぞ第一線に働く者も銃後の者も國を擧げての此の總動員的時期に、郵便と云ふ後方連絡が取れてゐないとは呆れ果てたる次第ではある區域外であつたら未納としてでも便宜にやつてくれたらどんなに嬉しかろ。

新京の郵便局長よ、あなたは日本人であるか、あなたは忠實に仕事をしてゐるかも知れんが、忠實をはきちがへてゐないか。今更法規の活用を敎へてやつても仕方がない、新聞社よ、どうかわめいてくれぶんなぐつてくれ、追出してくれ。

第一線の聲は是だ、然し又滿洲國の郵務司よ、どうか軍事郵便を使つてやつてくれ、今は非常時、日本に協力する秋、其がわからんか。

(北平　柳谷　目一)

朝日の軍用機 獻納資金 五百萬圓突破

【東京國通】全支にわたつて縱橫無盡活躍してゐるわが無敵空軍に對する國民の信賴は愛國獻金となつて日增しに高まりつゝあるが、これ等國民の至誠による朝日新聞社の軍用機獻納資金は廿六日現在遂に五百五十萬圓を遙かに突破して累計五百五十萬二千五百餘圓の巨額に達した

在鮮引揚支那人 三萬六千に達す

【京城國通】今次事變勃發以來朝鮮內在住支那人は續々引揚げを開始し廿六日までの總計三萬六千百六十九名を數へるに至つた事變直前の在鮮支那人六萬三千に對し既に半數の引揚を完了、最早これ以上の引揚げ者はないものと見られる、從つて今後も引續き鮮內に在住する支那人は約三萬で、その他滿洲國人約五千が在住してゐるわけである

弘報協會懸賞當選二等次席
中國民衆に告ぐ(一)
新京にて 權寧九

中國四億三千萬同胞諸君！

銃砲聲殷々として悽慘爛肉を震撼する眞中に父母兄弟妻子相別れ衣食住を奪はれ阿鼻叫喚の巷を四散分離して逃げ廻り、遂には最悪の干頭に立たんとするか？余は王道樂土滿洲帝國における半島人の一人として且つ又諸君とは同文同種の兄弟同志として氣の毒な諸君のこの慘狀を觀るとき同情の血涙を禁じ得ず、堯舜孔孟の大聖の子孫として道義、平和の東亞を堅持し、進んで世界人類の先驅をなすべき重大な使命を持つ諸君が何が故にかゝる悲慘なる禍中に最後まで安價な犧牲とならねばならぬか、痛惜抑へ難きものがある

これは誰の罪か？決して諸君の罪ではない、愛國の美名を借りて無辜な諸君を欺き一家一族一黨の私腹を肥やすためその勢力を維持するため狂奔する荒唐無稽な南京政府とこれを使嗾して領土ならびに諸君の血を呑まんとする鬼畜の如き彼の共產黨の責任ではないか

余は斷言する！此等南京政府と共產黨は諸君の敵であり我滿洲國民の敵でありわが日本の敵であり世界人類の共敵であることを！日本は今や人類を代表して南京政府ならびに共產黨を膺懲しつゝある、諸君！大事急變に臨み周章狼狽するはわが亞細亞同胞の取るべき態度ではない、徒らに騷ぐまでも自重！何が諸君を生かす途なるか、諸君の眞の敵は何かを正しく認識し斷乎たる蹶起がなければならぬではないか？

南京政府は諸君に向つて排日、抗日、侮日を敎へて來た、東洋民族の精神、その使命を忘れた共產黨は孔孟の道義に代へてマルクスの唯物論をもつてし、神の國日本を理解せず却つて唯一の敵として使嗾して來た諸君！諸君は彼らの敎へによつて果して何を得てゐるか？又何を獲得せんとするか

諸君！中國共產黨はソヴイエト寡頭專制政治を目して政治の理想とし中國をそれに誘導せんとして狂奔し現在においては南京政府を殆ど買收してゐるのである

マルクス・レーニンはヘーゲル哲學を誤解して人類から魂を奪ひ機械的世界の出現を夢見たのであつた、人間の始りが精神か、物質かは今更論ずる迄はない、又論ずる價値もない

然し吾人は物質乃至は他の生物を遙かに超過する精神の躍動が人生命力そのものではないかと思ふ

所謂共產主義者は現時の社會制度一切の缺陷が經濟機構の變革からして救濟し得るものと誤認し私有財產制度を根本から破壞せんとした

經濟機構を如何に合理的に變革しようとも人生から一切の不足を解消することは疑問であり經濟機構の變革さへもものではない、諸君！余が多彼等の說く如くさしも容易な言を吐くよりも何よりも現在のロシアを靜觀すれば共產黨の認識不足が判ると思ふ、彼等が如何に逆宣傳するとも雖數十萬の國民を殺し國富を火に投じて一旦革命政府成るや朝から晩まで國民は默々として勞働し、自由は與へられず機械的になつたきり理想的なものは何一つないではないかロシアは反帝國主義、支那の解放、弱小民族の自治云々を標榜するが、その實は中國の邊境各地を侵略し多數の中國民衆を彼等の壓制下に縛りあげて搾取の限を盡してゐるのである

これと手を取つて盲目なる南京政府は最近ソヴイエトを信賴すること甚だしく又今更ソ支不可侵條約の成立を發表して自から名譽にするものゝ如きも實任的價値のない條約が非常時の中國に何の役を爲すか、單に世界から切り離され孤立の惱みからかゝる虛構なりとも宣傳して諸君及び自己の神經を麻痺せんどする野暮に過ぎない

私有財產の禁止政策も今や完全に破壞され畸形資本主義を現出し內亂の激化を常に免かれないではないか！支那四億同胞及び其の國家を忘れて、かゝる不幸なる世界に導かんとする中國共產黨並にその誘惑に陷入りたる國民政府は正に諸君並に人類の共敵である

余は更に斷言する！此度の日中戰鬪において人類の敵南京政府並に共產黨を徹底的に膺懲し諸君を彼等の魔手から解放し日本、滿洲、支那相結びアジア民族を一團にして東亞永遠の平和を確立することは日本の使命であり人類の爲めの聖戰であることを！

同胞諸君！諸君の進むべき途は唯々日本及日本人を信賴せよ、そして一歩を進めて抗日侮日の分子を一掃し共產黨を撲滅すべく一致團結せよ！日本は決して諸君を敵とするに非らず諸君を保護するものである、然れども若し諸君が南京政府や共產黨の背後に隱れんか、日本軍は淚ながらも諸君を保護する事は不可能であらう

逃げ隱れせずに日本軍と行動を共にすべく表へ出よ

第五日目成績

△第一競馬(二頭、二、四〇〇米)
1壽(三分五二秒二)2若月、配當―單七圓一〇、等外一二圓二〇、搖彩四九圓、等外一二圓二〇

△第二競馬(三頭、二、二〇〇米)
1公山(三分二〇秒二)2蔘3秋風、配當―單一三圓五〇、搖彩1七八圓九〇、等外九四圓八〇

△第三競馬(二、二〇〇米、三頭)
1堅城(三分一二秒二)2北龍3幸成配當―單六圓一〇、搖彩1一一七圓三〇、等外一四圓六〇

△第四競馬(二、二〇〇米、四頭)
1華王(三分二一秒一)2弘洋3榮隆配當―單五圓一〇、搖彩1一四〇圓八〇、等外一一圓七〇

△第五競馬(二、二〇〇米、七頭)
1八二(三分八秒四)2笹姬3千代駒配當―單八圓一〇、複1六圓三〇2一三圓二〇、搖彩1二三五圓五〇、等外一四圓

△第六競馬(二、〇〇〇米、八頭)
1銀嶺(二分四〇秒一)2鯉龍3旭洋配當―單六圓七〇、複1五圓四〇2九圓一二圓一〇搖彩1六四五圓一〇2一八四圓三〇3九

△第七競馬(二、〇〇〇米、四頭)
1惠(三分二秒二)2鳥3新朝風配當―單三一圓七〇、搖彩1二三八圓九〇、等外一

圓九〇

△第八競馬(一、八〇〇米、十頭)
1朝日優(二分三五秒三)2三初3夕風、配當―單七圓四〇、複1六圓四〇2八圓四〇、搖彩1三四〇圓四〇2八五圓一〇、等外二一圓二〇

△第九競馬(一、八〇〇米、五頭)
1公主嶺菊姬(二分二二秒二)2雲祥3金進、配當―單一一圓、複1六圓、七圓二〇、搖彩1三一四圓八〇2七八圓七〇、等外三二圓八〇

△第十競馬(一、八〇〇米、五頭)
1紅燕(二分四二秒二)2玉飛3第三羽衣、配當―單二五圓八〇、複1一圓七〇2六圓五〇、搖彩1三〇七圓二〇、2七六圓八〇、等外三二圓〇〇

△第十一競馬(二、〇〇〇米五頭)
1勝駒(二分五〇秒三)2第二三友、3菊朗、配當―單一八圓七〇、複1八圓九〇2六圓九〇、搖彩1二九六圓九〇、2七四圓二〇、等外三〇圓九〇

△第十二競馬(二、二〇〇米三頭)
1一貫(三分一六秒一)2黑鷹3北闘、配當―單六圓五〇、搖彩1二四三圓二〇等外三〇圓四〇

廣告

商業登記

●金昌源四平街西區北三條通三十六番地、金四千圓有限金昌源回所、金三千圓有限黃址朝鮮平安南道平壤府上需里二百九十五番地、金三千圓有限金潤順四平街西區北三條通三十六番地、右昭和十二年八月二十四日登記

●合資會社三興鐵工廠變更一昭和十二年四月十日社員小川鑛太郎ハ其持分ヲ小川末夫ニ讓渡シテ退社シ小川末夫ハ之ヲ讓受左ノ通入社ス、金六千圓小川末夫新京特別市豐樂路七〇五號、右昭和十二年八月二十五日登記

●東京火災保險株式會社變更(支店)一昭和拾貳年八月十六日左記ノ者監查役ニ重任ス、川崎清男東京市麻布區本村町十六番地、高橋是賢東京市麻布區笄町百九番地、林季彥東京市世田谷區大藏町千八百三十六番地ノ一、右昭和十二年八月二十七日登記

●南滿洲鐵道株式會社變更(支店)一昭和八年十二月廿七日登記シタル日本帝國政府持株ニ對スル各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ昭和十二年八月十六日左ノ通變更ス、日本帝國政府持株三百六十萬株ハ株ニ付金十五圓六十一錢三分ノ一、右昭和十二年八月二十八日登記

●大矢組株式會社變更(支店)一取締役渡邊大德ハ昭和十二年八月十二日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス、奉天紅梅町二十八番地

家庭

疲勞の恢復には絶好のバタ料理
簡單な四つの調理法

バターは牛乳の脂肪を集めて造つたいはゞ牛乳のエキスともいふべきもので、一人體の生育上なくてはならぬビタミンAを多量に含んでゐます。純良バター一斤は三千五百三十カロリーの熱量をもち、鷄卵四十一個、牛乳五百匁、鷄肉七百九十匁、鯛九百八十五匁に相當します。またビタミンの外に少量の蛋白質、砂糖、鹽類及び食鹽を混入してゐますから風味があり、疲勞恢復のため特に今日は材料に有合せの野菜と卵の花を選んで、榮養價の高いバター料理の二、三を御紹介しませう。

ドゼウとゴボウのバタ燒き

◇材料及び分量(五人前)開きドゼウ百匁▼ゴボウ百匁▼バター大さじ五杯▼醬油小さじ三杯▼味淋小さじ一杯▼出汁小さじ十杯▼粉サンセウ少々

◇調理法 まづゴボウを細く笹がきにし、フライ鍋にバターを入れ火に掛け良くとかしバターが少々こげた頃ゴボウを入れ良くいため、之に醬油味淋を加へ、よく煮てドゼウを並べちよつと煮た時出汁と粉サンセウを振り掛けて暖かき內に用ひる。

卵の花のバタ燒き

◇材料及び分量(五人前)豆腐の殼百匁▼バター大さじ三杯▼白砂糖大さじ一杯▼醬油大さじ三杯▼日本ネギきざみにて大さじ山盛り十杯▼トマトソースあるひはケチヤツプ三杯

◇調理法 卵の花をよくすり裏ごしにし、別にネギをきざみ、フライ鍋の中へバターを全部入れこれを火にかけ、バターの溶解した時ネギを加へちよつと炒りこの中へ醬油、砂糖及びトマトソースを入れまた一度わかし、この中へ豆腐の殼を入れてよくいりあげ最後に鹽少々加へるもよろしい。

キヤベツのバタ揚げ

◇材料及び分量(五人前)キヤベツ三百匁▼魚の燒き身三十匁▼バター大さじ三杯▼片栗粉小さじ二杯▼醬油小さじ一杯半▼砂糖小さじ一杯▼鹽少々

◇調理法 先づキヤベツのしんをとり鹽ゆでにし水氣を拭き取り魚の燒身をキヤベツの端に並べ片栗粉をふりかけ小口より堅く卷き、竹の皮でくゝり鍋に入れ、醬油、砂糖を加へざつと煮て味をつけ、これにバターを入れてよく燒きつけて用ひる。

馬鈴薯のバタ揚げ

◇材料及び分量(五人前)中位の馬鈴薯二百五十匁▼醬油大さじ五杯▼鹽少々▼バター大さじ一杯▼砂糖大さじ二杯▼鰹節の粉大さじ一杯

◇調理法 先づ馬鈴薯の皮をむき適宜に切り、これをやはらかくゆで裏ごしにあげ、また元の鍋に鹽少々ふり、これにイモをいれて乾いたふきんを上にのせ、また火にかけこげぬやうにまぜながら水氣を取り別に鍋の中へバターを入れ、火にかけとけた時イモを入れてよく揚げ、次に鍋の中へ醬油、砂糖、鰹節の粉を入れてよく沸し、この中へ前の揚げたイモを入れてよく煮て用ひる。

醜い脛毛は
かうして除きます

(着)物の場合でも單衣物は重みがないために風に捲くれて脛がのぞくことがよくありますし、洋裝では薄地の靴下や膝までの短いのを履いてゐると脚の肌がハツキリと透けて見えます。其時に黑い脛毛の見えるのはどんなに脚の恰好がよくてもとてもみつともないものです

(で)和洋裝に拘らず、脛毛の濃い人は必ず脫毛劑で綺麗に除つて下さい。また毎日オキシフルをつけてをれば次第に毛が漂白され白く細くなりますし、入浴時にヘチマで擦れば毛が切れてゆきますから、かうして日頃から注意して手入れをしてゐれば脫毛劑を用ひなくても目立たなくなります。

(尙)は脫毛劑やオキシフルを使つた後は荒れ易いのですから必ずコールドクリームをつけてマッサーヂしておきますと脛も脫々と綺麗な肌になります。

"お茶"に注意すべし
折角の藥効も無駄
どんな藥に不可ないか?

昔から鐵劑をのむのにお茶はいけないと云はれてゐますが、鐵劑ばかりでなく他の藥の中にもなかなかお茶とは合はないものが多く、折角のお藥もそれを飲み下すために用ひたお茶によつて、或は苦い味の口直しに飲むお茶によつて藥の作用をおくらせたり、弱めたり又は全く無効にさへしてしまふことがあります。普通一般によく用ひる藥の中で、特に綠茶で飲んではならないものだけ數種あげて見ませう。

胃の藥

まづ胃の惡い時、胃酸過多の時など消化劑として誰でもよく飲む重曹、それからアタキシン、ペプシン、クエン酸(これらはお醫者がよく處方します)以上は酸の中和能力を利用する制酸劑です。ところがお茶を飲むと、そのあと暫くは酸の分泌が充進するので、折角目的の中和作用をかへつて邪魔することになつてしまふのです。ヂアスターゼ、ヂアスターゼは御承知の通り、澱粉を砂糖にかへる働きを持つて居ります。そこへお茶が來ると、お茶のタンニンのために糖化力を減少させられてしまふのです。

鐵劑

これがもしタンニンと結合すると腸管からの吸收が不可能

血壓降下劑

血壓の高い人がその降下劑として常用するヂウレチンカルチウム、ロエンヂウレチンカルチウムは何れもお茶といつしよになると吸收がずつとおくれてしまひます。

鎭靜劑

アダリン、カルモチン、ルミナールこれらにお茶が來るとお茶の茶素や香りの成分が中樞神經に興奮を與へ、鎭靜作用を妨害するわけ、從つて普通に考へてもお茶は興奮するもの、睡眠劑に興奮するものを用ひることのよくないのは分りませう。

解熱劑

アンチピリン、ザリピリン、アピレキシン、これらもお茶のためには作用が緩慢となります。

以上はそれらをお茶で飲む場合ですが、しかし藥だけは白湯で用ひても、その直前、お茶を飲んでは何にもなりません。前後廿分位づつは飲まないやうにして下さい。尙ちよつとおことわりして置きたいのは、これは試驗管の實驗で人體實驗ではないといふ事を申添へておきます。

種痘とお灸

種痘

いはゆるゼンナーの皮膚を切つて痘苗をうゑつける方法は効果は依然莫大ですが、これはどうしても後に痕跡が殘るため腕などにすることは成人後

婦人の腕に鮮明な種痘のあとがあつたり背中に醜いお灸のあとがあつたりすることは美容上隨分彼女達を泣かします。單に體のためだといつて彼女の美容を思はない親は非現代的です。

美容をそこなふことも莫大です。最近傳研で從來至難とされてゐた皮內注射の種痘方法が發明されましたが、これは勿論痕跡が殘らぬ點で美容上價値あるものですが、依然天然痘豫防効果の點ではゼンナーのそれ程確實な實證があつて居りません。

だから目下の處親達はやはりゼンナーの方法を子供の大腿部の上部に施してやることが最もよいので、子供が成人してからきつと親御さんの親切を身にしみて感ずることでせう。

お灸

お灸の効果を二種類にわかちます。

一、物理的作用―熱を患部に急激に加へそこの神經及び筋肉に充血を來して療す。

二、生化學的作用―皮膚組織が燒けると同時に燒けた蛋白質(ヒスタミン)が組織內に吸收されて免疫組織細胞を刺戟し、これにより免疫體の產出を促す。

二の場合はヒスタミンが吸收されて全身に廻るので、別にお灸を患部に施す必要はないのですが、一の如き物理的作用も含むのでやはり患部へ施した方が効果がある譯です。そこで背中即ち脊髓は身體の神經の樞なのでどうしてもこゝへお灸をすゑる事が多い。此ため醜いきずが背中の眞ん中に殘る事になる。もしも娘達に本當に親切な親達はきつと灸に代る他の療法を考へるでせう。ではその療法は?

まづ電氣療法が考へられますが、最もお灸に似通つた療法としてはお灸によつて生ずるヒスタミンを注射することです。このヒスタミンは動物を燒くと容易にとれるので日本にもモクリールその他種々の藥となつて發賣されて居ります。

最も憂ふべき事は子供が單に親のいふ事を聞かなかつたからといつて罰にお灸をするといふ日本の惡習です。このために子供は將來取返しのつかぬ傷痕を身體に殘す許りでなく、お灸による恐怖觀念から病的な神經質となる事が多いので、親たるものはこの習慣を是非とも除かねばなりません。

痕跡の殘らぬやうに深切な親心を!
彼女達が大きくなつたら泪の乾く暇もない

けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局 廿八日(火曜日)】

朝
- 六、二五 ニュース(東京)
- 六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
- 七、一五 朝の音樂(大連)
- 七、四五 建國體操
- 八、〇〇 氣象通報(東京)
- 九、〇五 經濟市況(東京)
- 一〇、〇〇 家庭講座(大連) 婦人と法律(一) 田村詢一
- 一〇、二〇 料理獻立
- 一〇、三〇 家庭メモ
- 一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)

晝
- 一一、三五 經濟市況(大連)
- 一一、四〇 經濟市況(東京)
- 一一、五九 時報(東京)
- 〇、〇五 晝の演藝(奉天) 浪花節 岡野金右衞門 京山小圓入道
- 〇、三〇 ニュース(東京・新京)
- 一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
- 三、〇〇 經濟市況(大連・新京)
- 三、四〇 經濟市況(東京)
- 四、〇〇 ニュース(東京・新京)
- 四、三〇 經濟市況(大連・新京)
- 四、三五 天氣概況
- 五、二〇 ニュース、演藝(鮮語)

夜
- 六、〇〇 子供の時間(哈爾濱) 唱歌劇 星から星へ 演出花園小學校兒童 哈爾濱花園小學校唱歌部
- 六、二〇 コドモの新聞(東京)
- 六、二五 講演(京都) 闘屋五十二 笠置山の遺跡に就いて 中村直勝
- 七、〇〇 ニュース(東京)
- 七、二〇 ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
- 七、三〇 講演(天津より) 北平附近の治安狀況
- 八、〇〇 國民協力講演第六日(東京) 國民精神總動員に際して 陸軍步兵少佐 鈴木嘉一
- 八、三〇 琵琶(東京) 關ケ原 伯爵 佐野常羽 菅原時保 千葉勇五郎
- 中村樵園作詞 橘旭翁作曲 田中旭嶺
- 八、五五 連續ラヂオドラマ第二夜(大阪) 赤穗浪士 大佛次郎作 永山衞吉脚色 前進座
- 九、三〇 時報、ニュース(東京)氣象通報、ニュース、告知事項・番組豫告(新京)
- 一〇、一〇 ニュース再放送
- 一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)
- 一一、〇〇 滿語ニュース、講演、音樂
- アナウンサー 宮司(朝) 上森(晝) 佐藤(夜)

琵琶 關ケ原
田中旭嶺彈奏
(後八・三〇 東京より)

▽…興亡は天の命にして、勝敗は時の運なるを、ゐる史家に誤られ、名は千歲に埋もれて、屍は萬古に朽ちはつる、不遇の偉人ぞ悼ましき扨ても太閤御臨終のその際に、御枕邊に召寄せたまひ、秀頼未だ稚なければ、偏に後見賴み入ると、後事を懇く遺言し、阿彌陀ケ峰に安らけく、眠りたまひし其時は、託孤寄命の大任を、帶べる身ながら家康は、次第に羽翼を養ひつ、終には豐家を覆へし、取つて代らん下心、かくすれどほの見えし、南山不落とうたはれし大阪城の基礎も、搖ぎそめしぞ大事なる、茲に江州佐和山の城主、石田治部少輔三成は疾く家康の胸中を見拔き、千々に心を碎きしが、竊かに上杉輝景と謀し合せ、老獪の家康を挾擊ち、君家を泰山の安きに置かんと、檄を四方に飛ばすれば、毛利中納言輝元、小早川中納言金吾秀秋、大谷刑部少輔吉隆を始めとし、西國方の諸大名、概ね之れに加擔して、軍勢凡そ十餘萬、義旗を中原に靡へす

◇…折しも家康は東國にて、上杉勢に向はんと、小山に在陣なしたりしが、かくと聞くより大いに驚き、さては三成豐家のために義を唱へ、我を擊たんと旗擧げしか、流石は見上げし敵なるぞ、さはさりながらこのまゝに、汝が擊たで置かんには宿志を遂げん事難し、いざとばかりに師をかへし、八萬餘騎を引率して、東海道をはせ上る、兩軍ハツタと出會ひしは、近江と美濃の國境、不破の關屋の名に負へど、兩雄何れが破れでは、叶はぬ破目の關ケ原、時しも慶長五年九月十五日朝まだき殘んの霧をつんざきて、一道の銃聲轟けば、忽ち玆に修羅場裡、人馬の雄叫び太刀の音げにすさまじき有樣なり、西軍の謀主三成は、その本陣を笹尾に構へ、茶縮緬の頭巾を被り、紺糸の小具足に一枚羅紗の陣羽織緞子の脚絆布草鞋、赤銅作りの太刀を佩き、太閤遺愛の團扇を手にし、天地に轟く矢玉の中に、神色自若と床几に倚り、刻々迫る戰の呼吸、阿云に合せて睨みしが、潮合此處ぞと見て取るや天滿丸山二山の頂に、天々焦さん合圖の烽火さつとばかりに打上げて、松尾山なる秀秋に、疾く東軍の中堅を、突き崩せよと促しけり、然るに彼方の山の上は、靜まりかへつて見かりにて、白雲まようばかりなり、三成胸を痛めしが、えければ、東軍の主將家康は、かねて金吾秀秋を利をもて誘ひおきたれば、頻りに鞍坪打ちたたき誘ひの鐵砲三百挺、火蓋を切つて打放ち、向背如何にと攻めつけたり

▼…百雷一時に轟けば、松尾山の頂きに、金色燦爛たる馬印、動くと見るやまつしぐらに、西軍の參謀たる大谷刑部少輔が旗下目懸け、雪崩を打つて突きかゝる、すはや金吾が裏切なりと、刑部は怒髮逆立ちて、おのれ日本一の卑怯者、やはか其儘置くべきぞと罵りながら迎へ擊つ家康さてはと北叟笑み、此機をはづさず切崩せなり、嚴しく下知を傳ふれば、東軍勇みて鬨をあげ、怒濤の如く押寄する、三成この狀態打ちながめ、悲憤の淚をのみながら、あゝ金吾に事を破られぬ、豐家の御運も末なるかと天を仰いで浩嘆し、老臣蒲生備中守左近を招き、既に大事は去りつるぞ、是や主從一期のわかれ、いざ水盃をと傍の小川の淸水手に掬ひ、疾く參れよと差出す、水はもとより濁りつれど、殘る雫にしへたる、千萬無量の情をば、淚とゝもに押戴き、さらば御免と兩人は、再び駒に打ちまたがり、崩れたつたる味方をはげまし、目指すは內府が首ぞと、阿修羅の如くたけりたち力を限り戰ひしも、西軍遂に敗北し、五三の桐に秋風の、吹きそめしこそ是非なけれ、賞に一將の功成りて、萬骨朽ちし關ケ原、一世の英雄三成が、君家のために身を棄てゝ武士の鑑を殘したる、孤忠苦節の跡訪へば、伊吹風の蕭々と、松に應ふるばかりにて、恨みや永く殘るらん、恨みや永く殘るらん

料理獻立
拔絲栗子

栗の飴煮はまことに美味しいもので御自宅でも充分お出來になりますから、そのつくり方を申上げませう。又この方法でジヤガ芋などでもおつくりになれます。

【材料】中栗 卅五、六個 ラード 三合 砂糖 五〇匁

栗の皮をむき蒸し揚げてから別にラード砂糖を煮とかした中へ入れます。

赤穗浪士
前進座
連續ラヂオドラマ(第二夜) 後八・五五(東京より)

江戶城內松之間に於て、淺野內匠頭が吉良上野介に刄傷に及んだ。その報知は早速家臣二名の早駕籠で四日目に赤穗城の大石內藏之助の許へ達した。主君の悲報、お家の斷絕を聞いた赤穗の家中は、城內に參集して「籠城」「明渡し」「復讐」の三つに分れ、家老大野九郎兵衞は自重を口にして事なかれ主義の頭目であつた。內藏之助は佯主稅の意見を問ひ心ひそかに「復讐」の志を抱くのであつた。一方吉良上杉家では、赤穗領へ續々隱密を送つたがそのうち女ながらもしたゝか者のお仙と呼ぶ女隱密と、かつて柳澤出羽守の邸內に忍び入つた蜘蛛の陣十郎、堀田隼人もそれぞれ活躍してゐた。そのお仙は陣十郎や隼人と逢ひ明月の夜菩提寺に下男一人をつれて赴いた大石內藏之助を邀擊すべく七人の輩下を引きつれて內藏之助の歸途の傍らに身を忍ばせて待つたとは知らず

內藏之助主從は、その場へさしかゝる途中、怪しい乞食から身の危險を知らされ刺客を打ち斥ける事が出來た。面體をかくした乞食は堀部安兵衞でかげながら內藏之助を護つてゐるのである。月光の彼方に浮ぶ赤穗城を打ちみやりつゝ大石は新らしい首途の感慨に耽るのであつた

國防獻金
關東軍受付

[illegible]

學藝

文化の擁護

本多顯彰

世界三大强國の一と自稱しながら、日本が文化において立ち遲れてゐることは、正氣の人なら誰でも認めるであらう。なるほど科學の方面では世界文化の水準を拔く存在が日本にも無くはないが、日本の一般文化水準は、少くとも一等國としては低いといはなければならないことは、文化の仕事に從事する人自身が認めるところである。そして日本が一等國なら文化においても一等國に列しさせなければならない。それにも拘らず、文化の水準が今日目立つて高められつゝあるとはいはれないのは、一つには勿論文化擔當者の能力の不足からとはいへ、今一つには歷代の政府が教育のことに無關心であり、また文化の擔當者を遇する道を知らなかつたからである。わが國の教育制度の根本的改革は、既に三十年の昔から急務であつたにも拘らず、その急務は、今日まで遂に果されないまゝに殘されて來た。その教育は、誇張していふならば、被教育者の智能と情操とを痲痺するといふよりは、寧ろ殺すことに役立つて來たともいはれるほどのものである。一般國民の智能と情操の低さは、今日蔽ふべくもないのである。その一の例を擧げるならば國民は低劣な代議士を選び、そして、惡政を批判することが出來ない。また、よし批判が出來てもその批判が容易に抑壓されるやうでは、文化國とはいへない。文化國なら、あらゆる批判を聽き、衆智を集めることによつて、文化水準を高めることに努力する筈だからである。

最近藝術院が創設され數名の文學者が「刺身のつま」の如く會員に推薦されたが、實用的な科學の研究者と官立大學の教師たちを除いて文化の擔當者たちは如何なる恩顧を政府から受けて來たであらうか。しかも政府が教育への關心を放棄した今日文化の擔當者の仕事は二重になつて來てゐるのである。一つには、政府によつて放棄された教育を文化の擔當者は引受けねばならぬ。文化の擔當者は、さういふ重い仕事の外に、彼本來の仕事、すなはち彼自身の研究を深めつゝ、一方一般國民の文化水準を高めることになつて、それと彼の水準との間の間隙を埋めるといふ責務を持つてゐるのである。その樣な重大な責務を果しつゝある文化の擔當者たちに國家は何を報いたか、彼等が國家から受け取つたものは、冷遇と貧窮だけである。國家から冷遇されたら、彼等は貧窮に陷るよりほかはないのである。世を擧げて戰爭の關心に滿たされてゐる今日、文化の擔當者の生活がます／＼脅かされてゐることは云ふ迄もない事だが、かういふ時にこそ文化は最も强固に擁護されねばならないのである。事變が終つて日本が名實共に東洋の盟主になる時、もし文化が事變前よりも後戾りしてゐたら、それは實にみつともないことだ。

人材の養成

新京にも學校を設けたら

演劇親話會記錄（三）

長谷川　順序を通つて話して行つては

赤川　前の文敎部の頃の書類が見つかつたので、大同三年調べのでなくな、たのもあるかもしれませんが、全滿に基本金千圓以上の劇場はありません、八百圓位が最高で二百圓位まで興業する度に赤字を出してゐるので興行すれば必ず成り立たなくなるといふことになつてゐる。一例をあげると奉天の或劇場は一ヶ年九千圓の收入で支出が一萬幾らかになり新京の饒春茶館（もうつぶれてゐるか）は收入が百五十萬吊で支出が二百萬吊となつてゐます、で後援を政府としては出來ないといふのでした

張燕卿　民生部では何とか補助金でも出したら

赤川　一々經濟狀態をしらべて、つぶしてならないものには補助するといふ方法もあるが私は脚本によつて補助する行方はどうかと思ひます

奧村　これはどうです、眞殿さん、この赤字は手であつて實際とは異ふんぢやありませんか

眞殿　私は附屬地の方でバラックを建てゝ演劇をやつてゐるのをしらべてみましたが入場料が丁度いいので十錢から二十錢それで良い日は百五、六十圓惡い日で五十圓の入りがあり俳優には惡い日でも十五圓支拂つてまだ利益があるのです、唯滿洲の惡い習慣として兵隊とか警官とか、なほ密偵の妻君などはまだいゝとしてその友達の知人等を引ぱつてきて五割以上の無料入場があります、日本人がやれば嚴重にはなりますが、それでも相當にある、でこの惡習をあらためなくちやならないと思ひます

それと最近のことですが公會堂で支那劇をやつてみたいから借してくれといふ話で、私は日滿親善上いゝと思ひ十月一日からやつてみたいと思つてゐます、その俳優もいゝのは奉天から新京を素通りしてしまふので相當のところの花鈴霞、麻紅、楊盛志の三人でやることになりました、それにも問題があり、會場を汚すとか、日本物を交ぜろとかいふ話がありますが私の方でも研究して將來は一德一心の上から日滿劇が同時に上映出來るやうにしたいと思つてゐます

奧村　私共は大連にゐましたがいゝのは大連に來ないで奉天、ハルビンに行つてしまふ、一番開けた大連に來ないのはどういふ譯でせうか

張燕卿　私は協會の會員でありませんが昔しから榮さんと遊んでゐたので出て來たのですが、滿人であらうが、漢人であらうが、現在音樂でも劇でも藝術味はないと申しましたが、私はあまり俗だ、學問的でない、それで行かないのです、だから寧ろ映畫に行きます、だから將來性のある新鮮味のあるものを持つて來てやることです、それから私の思ふには、その文敎部の調べはほんとぢやない又一千圓以下の基金では絕對に芝居は出來ない、新京は兎に角奉天でもハルビンでも營口でも大きい劇場は數萬圓もかけてゐる、少くとも何萬圓かは必要で僅か一千圓ぢや續けてゆくことは出來ません

それは稅金や附加稅や寄附金等のために少し申告してゐるだけのことです

次に特別の脚本に對して補助金を出すことは考へる必要があるが、集まる觀衆が問題です、一つは文字の見えない人、一つは相當の文明を持つてゐる人の二つに分けなくちやなりません、一つの文字の見えない人をもいゝが多少でも知識があり判つた人々はそれで喜ばすことは出來ません、新京も國都となつてから一流の人々が來てゐますが、その人達の娛樂は何もありません、汚いのは別として、演つてゐるものが駄目です、着物や設備を見るのではありません、北京にゐた人は音律が判つて調子、咽、唄の味が判ります、でほんとの北京の嚴重な學校（班）を出た眞面目なものでないと味へない、で少くとも北京の劇場で一番いゝのは十二時頃出るが六時七時頃出る役者の唄はまづい、でも規則に合つてゐる、それでまだいゝ、がこゝでやつてゐるのは全く音律を外れてゐて聞くに堪へません

支那の大きな町、漢口、上海等にゐる人は北京のものは聞けないで電氣を使つたり着物を綺麗にしたりしてゐるが、北京の人からみればそれはすぐに厭きる、耳には入らないのです、これらの審判の能力は常識になつてゐるので、滿洲で行はれてゐるやうなのを見に行く人はありませんで、私達は萬壽節などの時いゝ人をたのんで一時間か二時間で我慢をするのです

若し中以上の人民までの娛樂機關を考へれば少し根本的に研究しなくちやいかん、兵士や警官の取締りは治安部に賴めばいゝが役者がゐません

それで新京に學校でも作つたらどうです、北京から一々呼ぶ譯には行かないから北京にも南京南通州にまで學校が出來てゐる、南通には張謇といふ有名な人が居て建國時の駒井さんなんかも曾て居たことがある、小さな所だが獨力で作つてゐる、新京にも各方面の經費を集め學校を作ることは譯ないことです、北京から遊んでゐる先生を呼んでもいい、あんな難しいのは判らないからといつて通俗的になつた低級になつたものには此の際手を入れる必要はありません、先づ音樂學校を作ります、舞踏にしても滿洲には出來る人もない協和會の協和舞踏ですが、あれやなつてゐない、日本の舞にしても、それを日本文化として滿洲で眞似ればまだそれは出る、蒙古の每年見る踊、あれも滿洲風にすればいゝ、それで先づ人材の養成が現在の問題です、ですがすぐに改善は出來ますまいが滿洲國として教育家を作ることが必要です、捨てゝしまはなくちやならないやうなものを改善しても駄目です、先程の公會堂でやるといふ役者の名前なんか私は知りません、ちよつと上海あたりに行つて變なものを習つて來てやるのはいけない、では北京からほんとの役者を呼ぶとしてもそれは又金がかゝつて一晩に何千圓、何萬圓を餘興に使ふ餘力は滿洲にはまだありません、であるもので滿足することになる、現狀では人がゐないといふが、併しもう少しはよくなつてもよいのではないかと思ひます朝鮮の崔承喜といふ人いいか惡いか知らないが、立派に出來る、勿論日本の學校を出てはゐるが、で滿洲國でも教育すれば出來ると思ひます、各方面の力を協せてやつたら出來るんぢやないでせうか

赤川　滿鐵とか協和會、民生部など文化方面のことを獨立せずにやつたらいゝ

一風景

―葉山嘉樹市井物を書く―

葉山嘉樹の小說を久し振りで讀んだ「馬鹿氣た話」といふので「文學界」十月號の卷頭に載つてゐる。土方生活をしてゐる主人公がどうした機緣でか、或る大きな家にただで住んでゐる。そこへ、一風變つた昔の仲間が舞ひ込んで來る。仰山な手土產などを持つて來たので、何か曰くがあるとは思つてゐたが、實はその男は職場から追放されて暫らくの逃避行にやつて來てゐたのだといふ話。

思ふに、これも一種の市井ものであらう。銀座風景の代りに山の奧で、女給なんかの代りに女房どもが出て來るだけである。讀者は一種特別の感懷無きを得ぬ。往年のプロ作家、いまやこの市井ものを書く。

平和なる風景。輕い味はひ。それは確かなもので、格別の感銘などはなく、どうやら僕は題名がほんとに「馬鹿氣た話」であつたのかどうかすら確かな記憶がない始末である。（T・T・R）

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△調查彙報（第一輯）加悅秀二「重要輸出農產物倉庫會社の必要に就いて」永島勝介「最近の世界貿易情勢」薗田泰助「滿洲に於ける株式市場に關する一考察」猪原忠人「中國農村に於ける借貸形態」等のほか資料多數を載せてゐる（滿洲中央銀行調查課）

△大吉林（九月號）九・一八記念號として回顧記事を盛つてゐる、その他吉林を中心とする記事豐富（吉林市大東門裡、大吉林社、三十錢）

△碧雲（九月號）故木下なみ女史の遺詠、諸家の同女史追悼句文を收めてゐる（三重縣四日市市下新町碧雲社、二十錢）

△時事經濟（十月號）經濟知識を平易な形式で大衆に親しませることを主眼につくられてゐる（東京市神田區宮本町八時事經濟社二十錢）

△海（九月號）水野廣德「戰爭と海運」田中叢「台灣の思出」その他に多くの寫眞を配す（大阪市北區宗是町一、大阪商船株式會社、二十錢）

△滿洲評論（九月廿五日號）橘樸「分裂か統一か（下）」岸田英治「北支變局の團結」前野善樹「上半期滿洲貿易の解剖」時評「康德四年度協和會全聯所感」「國營特產輸出檢查制度の確立」等（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

△短歌新聞　戰爭短歌考察（日比野道男）時局と新短歌（淸水信）歌壇時評（岡野直七郎）（東京杉並區高圓寺一の十九其社一部十二錢）

胃腸に若素（わかもと）

下痢と便秘は同一の原因・常習便秘、下痢に共通の療法

胃酸過多症は

胃壁の組織細胞の異常から來る、病症であつて、從來の樣な重曹療法は火事の火元を放置し、煙だけを消して居る樣なものである。此に反し若素（わかもと）は、衰弱細胞に活力を與へ、胃液の分泌機能を調整して、火事の火元を消す生物藥である。

胃アトニー症は

胃筋が衰弱弛緩し無力狀態に陷つたものである。從來の消化劑や健胃劑が、單に胃を保護しその働きを補助するのみなるに反し若素（わかもと）は胃の組織を強め、自力で無力狀態から脫せしめ、根本から胃組織を強化する細胞賦活藥である。

便秘及下痢は

いづれも腸管を組織する細胞の衰弱、異常から來てゐるが、若素（わかもと）の特長とする細胞原形質賦活作用は腸管の若返り現象を起させるので榮養の吸收、糞便の排泄が調整され、常習便秘や慢性下痢が輕快し、腸内の自淨作用が活潑になつて、異常醱酵、自家中毒また老衰現象も豫防される。

衰弱に若素（わかもと）

著しき食慾の增進と、活潑なる體重增加

單一榮養劑に非ず

若素（わかもと）は單なる榮養劑ではなく、諸酵素、ホルモン、ビタミン、アミノ酸、無機物等の綜合作用により、榮養攝取の機能を活潑にし、日常食物からの榮養吸收率を增すと共に、不足する榮養素を補給する、綜合微生物劑である。

抗病力を增大

結核その他の慢性衰弱病者に若素（わかもと）を投與すれば、まづ食慾の著しい增進、次いで血色の良好、安眠、體重の增加を見るが、これは若素（わかもと）の特色たる細胞原形質賦活作用が全身の機能を昂め、抗病力を增大すると同時に、直接殺菌、溶菌素を增加して病原の跳梁を阻る爲でもある。

若素（わかもと）に代用藥なし

由來、有名藥に類似品の續出するは免れぬ所であり、若素（わかもと）もその例に洩れず諸種の類似藥が夥しく現はれ、その取次販賣の口錢多きため、若素（わかもと）と効果に差違なしとして勸める藥局もあるやうであるが、若素（わかもと）は多種類あるヘーフエ菌中最も醫藥的價値に富む特殊なる菌種を、專賣特許の方法によりて、設備する大規模の製造設備の下に製造せるものであつて外觀形態は類似するとも、その効果において本劑と同種なる製劑は他に存在せず、單にヘーフエ菌劑或は酵母劑なるが故に効果同一なりと信ずるの誤なるは、各大學における比較試驗の結果に徵するも明瞭である

乳兒に若素（わかもと）

產後の貧血恢復と乳幼兒の消化不良の防止・發育の助長

惡性貧血に著効

產後に多い惡性の貧血に對して、在來の單一成分の造血劑、榮養劑と異り、若素（わかもと）はよく造血機能を鼓舞し、新鮮な血液を增加する作用が旺盛で、權威ある大病院に於て齊しく推奬される所である。

乳兒死亡激減

乳兒の不健康は殆ど哺育料の不適當から來る、若素（わかもと）はビタミンB複合體の生物界隨一なるを始め、乳兒の保健發育に有効な諸成分を綜合的に含有し、特に乳兒死亡の最大原因たる消化不良を防止する効果にすぐれてゐる故に、本劑の普及により、世界的高率にある我國の乳幼兒死亡率の激減が期待されてゐる。

虛弱體質を強化

虛弱、發育不全の乳兒の哺育料中に若素（わかもと）を添加すれば、よく乳兒の消化管を強め、榮養の吸收を促進し、體組織を強靭にして、病菌に對する抵抗力を強め、健全なる發育を遂げしめる。

頭腦に若素（わかもと）

頭腦に榮養を與へ精力を補給し、疲勞を恢復し、能率を增進する

頭腦の明快

頭腦の明快には、腦細胞中に鬱積する疲勞物質を分解排除する一方、精力源となる榮養素を補給し、頭腦組織を常に新鮮に保つことが必要であるが、若素（わかもと）はレシチン、無機燐酸、ビタミン等の諸成分の綜合作用により、疲勞の恢復と新精力の補給を圓滑にして、常に頭腦を明快に保たしめる。

疲勞を輕減

若素（わかもと）は、血液中の糖分を常に適量に保持すると同時に、血球沈降速度を緩和する作用が顯著であるが、血糖の適量は、精神及び肉體のエネルギー持續を意味し、血球沈降の緩和は、疲勞度の輕減を意味する。即ち若素（わかもと）によつて、精神及び肉體は最も疲勞少くして、最高の能率を發揮することを得せしめるのである。

太原空襲の犠牲 平少佐等八勇士遺骸 昨日原隊に死の凱旋

長驅太原の空を衝き勇猛果敢な爆撃を敢行中、不幸敵彈のために壯烈なる戰死を遂げた空の荒鷲陸軍航空兵少佐平長一、同大尉堤政雄、同中尉谷田部寅藏、同少尉藤野三郎、同少尉岩橋學、同曹長遠藤君彥、同曹長渡邊武雄、同軍曹田井四郎のわが陸軍空軍の精華八勇士は二十七日原隊に悲しき凱旋をした

平長一少佐

堤政雄大尉

谷田部寅藏中尉

藤野三郎少尉

岩橋學少尉

遠藤君彥曹長

渡邊武雄曹長

田中四郎軍曹

戰史に燦たり 空軍八勇士血戰記錄

太原附近にて勇猛果敢な空爆及び空中戰を續け內蒙の怪鳥として敵軍畏怖の的であつた〇〇部隊に屬する平航空兵少佐はじめ堤同大尉、谷田部同中尉、藤野同少尉、岩橋同少尉、遠藤同曹長、渡邊同曹長、田井同軍曹の八勇士の壯烈な戰死は、その時と所を異にすれども何れもわが空軍の價値を遺憾なく發揮し、支那事變史に特筆大書さるべきものとして全軍賞讃の的となつてゐるが、原隊に達した故八勇士の當時の血のほとばしる奮戰記錄つぎの通りである

堤、遠藤機 出動以來赫々たる武勳を讃へられた同機は去る八月十九日敵の情況視察を命ぜられ出動中、察哈爾省懷來縣八達嶺高地上空において大部隊の敵の射撃をうけ奮戰、敵に多大の損害を與へたるも敵彈命中遂に兩勇士壯烈なる戰死をとげた

谷田部、渡邊機 九月十五日太原飛行場格納庫を猛烈に爆撃後敵機數機にかこまれ縱橫に秘術を盡して空中戰を演じ一機を擊墜したが、不幸同機も機關に故障を生じ太原北方五里忻縣南方に墜落し惜しくも湖北の華と散つた

藤野、岩橋機 九月十八日悪天候を衝いて太原飛行場を爆擊せんと濃霧の中を捜査中高村上空において敵機に遭遇し、阿修羅の如く奮戰し敵に多大の損害を與へたるも遂に名譽の戰死をとげた

平、田井機 太原方面に爆擊或は偵察に敵の心膽寒からしめる大膽なる飛行を敢し武勳を北支に輝かしてゐたがその日も未曾有の惡天候を冒して一路爆擊に向ひ敵に多大の損害を與へたが遂に壯烈な戰死をとげた

「部下の行方不明が心配」 最後の便りを語る

故平少佐夫人談

廿七日無言の凱旋をなした空の八勇士の遺骨は原隊に安置され、同夜しめやかな通夜が營まれたが、同夜故平少佐の留守宅新京蓬萊町四ノ十二に嚴父鹿之助氏（五六）及び少佐夫人とし子さん（二三）を訪へば故少佐の寫眞を安置せる前で夫人は武人の妻らしく淚一滴みせずにつゝましやかに語る

九月二日に便りがありましたが「元氣で戰つてゐる、今非常に多忙だから便りがなければ無事だと思つてゐて貰ひ度い、部下の堤中尉の行方が判らないのが何とも心にかゝつてたまらぬ」といつて參りました、今はこれも思ひ出となりました

夫人の言葉についで嚴父鹿之助老は

長一も軍人としてその死場所を得てさぞ喜んでゐることでせう

と凛として語つた（寫眞は嚴父鹿之助氏ととし子夫人）

遺兒を抱て 兩勇士夫人語る

故堤大尉はさき夫人（二九）との間に長女千百合さん（三）長男誠さん（一）があるが、自宅を訪へば夫人は

出發の際夫は皆の期待に副ふやうに一生懸命やつてくるといつてをりましたが、便りは一度もありませんでした、生前夫の樂しみといへば子供を可愛がる位のものでした

と語り、頑是ない遺兒達の頭をやさしくなぜるのであつたついで故谷田部中尉の宅を訪へば夫人富美子さん（二五）が一子日出夫さん（五）を抱きながら

十六日夜來た便りが最後のものでした、手紙の文句は元氣だから安心せよの簡單な一言です、平生軍務のかたわら俳句など大好でした日出夫が大きくなつたら父のあとを繼いで御國に率公してくれませう

とけなげに語つた

八勇士略歴

廿七日原隊に無言の凱旋をなした平少佐はじめ我空軍の精華八勇士の略歴左の如くである

△平長一航空兵少佐 平少佐は福島縣安達郡二本松町の出身、本年卅一歲、陸士は四十一期生で昭和四年十月航空兵少尉に任官同七年中尉に昇進、滿洲事變に出動して赫々たる武勳を樹て熱河で名譽の戰傷を負つたが、事變の功により功五級金鵄勳章及び旭六を授けられた、ついで同十一年八月大尉に昇進、今次の支那事變に勇躍征途に上つたものである、戰死と共に少佐に進級

△堤政雄航空兵大尉 堤大尉は平少佐と同年の卅一歲、福島縣美島郡三島村の出身である、大正十五年志願兵として電信第一聯隊に入營、昭和二年工兵伍長に任官後、航空兵科に轉じ昭和八年士官候補生となり陸士に入校、卒業後少尉に任官、滿洲事變には華々しい功績を殘し瑞五を授けられ、同十年中尉に昇進したら今次事變に出動名譽の戰死と共に大尉に任ぜらる

△谷田部寅藏航空兵中尉 谷田部中尉は東京市大森區調布鵜之木町廿四出身の本年卅六歲、大正十二年一月步兵第卅四聯隊に入營、同十四年軍曹に任官後第卅一期操縱學生として所澤陸軍飛行學校に入り、同校修業後航空兵科に轉じ陸士を經て昭和十一年三月少尉に任官、明野陸軍飛行學校に學んだ、今次事變勃發するや直ちに出動を命ぜられたものであるが戰死により中尉に昇進した

△藤野三郎航空兵少尉 藤野少尉は大分縣下毛郡下郷村出身で本年卅二歲、昭和二年一月航空兵として入營、翌二年伍長に任官、陸軍戶山學校、所澤飛行學校を經て昭和十二年二月准尉に任ぜられ支那事變に出動し戰死と同時に少尉に進級なほ出動中の八月瑞六を授けられてゐる

△岩橋學航空兵少尉 岩橋少尉は愛知縣知多郡成元町出身の本年廿五歲、昭和六年一月航空兵として入營、同七年伍長に任官、所澤陸軍飛行學校修業後滿洲事變に出動、功により瑞七を授けられ同十一年十月少尉候補生となり、同十二年陸士を卒業、今次事變に出動、名譽の戰死と共に少尉に任ぜらる

△遠藤君彥航空兵曹長 遠藤曹長は東京市豐島區駒込六の七四二出身、本年廿五歲、昭和八年一月航空兵として入營、同九年伍長に任官、同十一年澤飛行學校に入り軍曹に昇進、戰死と共に曹長に任ぜらる

△渡邊武雄航空兵曹長 渡邊曹長は新潟縣古志郡荷項村出身で本年廿五歲、昭和八年志願兵として航空隊に入營、昭和十年二月伍長に任官、所澤陸軍飛行學校を經て軍曹に進み今次事變に出動して戰死と同時に曹長に進級した、なほ滿洲事變の功により旭八を授けられてゐる

△田井四郎航空兵軍曹 田井軍曹は石川縣金澤市田町出身、本年廿二歲、昭和十年第二期操縱生として所澤飛行學校に入校、翌年熊谷飛行學校に轉じ同校卒業さらに下志津飛行學校を經て同十二年伍長に任官、今次の戰死に軍曹に任ぜらる

新日ハンデートーナメント優勝戰終る

ダブルス、石橋、小佐々組 シングル山路君優勝

新京硬式庭球マンを總動員して去る十八日より大使館並に中銀兩コートに於て熱戰が續けられた本社主催第一回新日ハンデキヤプトーナメント決勝戰は二十七日午後四時半より大使館コートに於て盛大に擧行された、群雄を屠り制覇の意氣に漲り切つたダブルス石橋、小佐々－江口、藤川兩組シングル山路、片山兩君必死の奮闘もの凄く大接戰を演じ優勝戰にふさはしい美技に滿場を熱狂せしめ歡躍の嵐の中にダブルス石橋、小佐々組シングル山路君が優勝した、終つて上田本社代表よりダブルス、シングル兩優勝者に張司法部大臣並びに丁鑑修氏寄贈の大カツプを、準優勝者には本社のメダルを授與し目出度く大會の幕をとぢた

▲ダブルス

石橋	4－6		江口
小佐々	6－3		藤川
	6－2		

第一セツト二オールとなり江口組第五、第六ゲームを取り四－二にリードしその儘押すかと思はれたが石橋小佐々の老練なネツトプレーよく四オールにこぎつけたが遂に江口組元氣に六－四で勝つ第二セツト三オールになり石橋組よく藤川をマークし六－三で石橋組の勝となり、セツトオールで決勝戰らしいマツチとなつたがフアイナルセツトとなり老人組疲れを見せたのに反し現役組次第に當りを見せ遂に六－二で石橋組優勝す

▲シングル

山路	6－2	片山
	6－4	

試合なれした山路初めより好調を示し第二セツト頃片山やゝ當り出しネツトプレーよくきまり新進の意氣を見せたが、遂に山路の勝となる（寫眞は優勝カツプ授與式と優勝した向つて右より、小佐々、山路、石橋の諸君）

秩父宮同妃兩殿下 ナイアガラ瀑布御觀賞

【ナイアガラフオールズ廿六日發國通】秩父宮同妃兩殿下には二十六日午前十一時モントリオールからナイアガラフオールズ市へ御到着、ナイアガラ公園管理委員會御招待の午餐會に臨ませられ、ついで米加兩國を繫ぐ平和橋に成らせられ、カナダ側からナイアガラ瀑布の壯觀を御觀賞遊ばされたのち御機嫌麗しく午後七時十分トロントに向け御出發あらせられた

自動標示機

年内は城內一ケ所だけ 來年度は全部實現

首都警察廳では康德會館前交叉點に近代的ゴーストツプの標示機の取付は資金の關係上本年中には間に合はず來年度に持ち越される事となつたが特別市公署、自動車會社等で資金を捻出、城內で最も交通頻繁な四馬路と大馬路の交叉點に建設費千六百圓をもつて理想的な標示機をとりつけ交通整理を行ふべく目下關係者間に於て種々考慮中である本年內の取付は取り敢へず前記一ケ所とし明年度からは交通頻繁な各交叉點に自動標示機を設置することゝなつてゐる

今日關岳祭典

市公署、滿洲國各機關全休し 南關々帝廟に集ふ

二十八日は秋季關岳祭に相當するので市公署、滿洲國側各機關全部休日で、祭典は南關の關帝廟に於て辰初（午前八時三十分）から執り行はれる關は即ち關羽、字は雲長といひ生れは山西省解良地方漢時代の武人で死後壯繆と稱せられ岳は即ち岳飛字は鵬擧といひ生れは河南省湯陰地方、北宋時代の人で死後武穆と稱せられた人である、關は信義を重んじ岳は一生忠孝を盡したので人格高尚にして共に武功顯著で千古の偉大なる人物となつたものである、この二人は軍人の模範として毎年春秋二回合祀を行ふものである

大藏省預金部 栗原氏等來京

大藏省預金部資金局監理部長栗原修氏は小宮元治、村上一雨屬官と共に十九日東京出發二十日釜山上陸朝鮮各地の視察をなし、二十九日入滿安東、奉天、撫順、鞍山、旅大視察のゝち十月六日午後六時二十分着あじあで來京八日まで滯在滿洲國經濟部、關東局、中銀、興銀と打合せ新京輸入組合、新京金融組合を視察北滿北鮮を視察の上歸國の豫定である

華北大戰捷祝賀大會

近く協和會首都本部で開催

北支戰局は勇猛果敢な皇軍の進擊によつて既に敵の本據とも目すべき重要地點保定、滄州、大同、平地泉を陷落せしめ大勝を博したが、この戰勝は北支作戰の輝やかしき成果で皇軍の威武を世界に宣揚する意義深きものであるのみならず日滿支提携にも深い關聯を有するものであり、之を契機に北支の明朗化が急速に促進せられることは滿洲國にかても共同防衞の見地より心から慶祝すべきものである、かゝる見地に基いて首都協和會本部では主催となつて今次の戰捷を祝賀する『華北大戰捷祝賀大會』を新京、奉天、ハルビンの三箇所に於て大々的に擧行することゝ決定した、尚ほ同會では目下これが具體案作成を急いでゐるが兩三日中詳細を發表する筈

煤煙防止委員會議案

煤煙防止委員會では過日幹事會を開催本年度下半期事業として委員會に提出すべき議案を審議したが來る二十九日午後四時半より日滿軍人會館に於て委員會を開催協議決定することゝなつた、提出議案左の如し

一、昨年度事業報告の件
一、會長推薦の件
一、新委員決定
一、四年下半期事業決定の件

神守地方部長

滿鐵地方部長神守源一郎氏は關係機關と打合せのため二十七日午後六時廿分着あじあで來京した

下河原氏來京

東京國會議員下河原金平氏は皇軍慰問のため近日中に來京することゝなつた

鈴木婦人院長

新京滿鐵婦人醫院長に就任した鈴木浩博士は二十七日關係方面に新任挨拶をなした

市立醫院に齒科

特別市市立醫院はこの程東都齒科醫界の權威渡邊粥博士を齒科醫長に招聘齒科醫部を新設同醫院の充實を圖ることとなつた

滿鐵新京支社にその人ありと知られてゐる庶務課長兼地方課長事務取扱の菅野誠君▼一人二役の忙しい仕事を鮮やかに片附け暇な時にはゴルフ場に巨軀を現はし大いに浩然の氣を養つてゐたが▼支那事變以來ゴルフの方はぷつつり止め寸暇をぬすんではせつせと映畫館通ひを始めた▼はてな餘りにも變な心境の變化よなとひそかに探りを入れて見ると事變以來北支上海の戰爭映畫は一度も見逃したことがないといふニュース映畫の大フアンといふことが判明▼これでやつと謎は氷解した、それもその筈同氏は故菅野大將のご曹子だつたつけ

天氣と氣溫

けふの天氣　西の風晴一時曇
日の出　前　六時三二分
日の入　後　六時二七分
月の出　前　時　分
月の入　後　二時四二分
きのふの氣溫　最高　一四度七
最低　二度八

義人長七郎

（五十五）

（井上演）中川雨之助
（映畫化）竹枝一郎畫

彦左の活躍（一）

高輪の城中で、將軍のお鷹付が狙まれたといふので、相當神經過敏になつてゐる矢先、またぞろ、雜司ケ谷お鷹野先で、將軍を砲撃した曲者が現れた、この重大事件突發のために、幕府はスッカリ狼狽して、極度に神經を尖らしてしまひました。

それが爲に、千代田城内では、閣老たちの間に、何度評定が開かれたか知れません。

けふも亦た、その御前會議が開かれて居るのです。

大老酒井讃岐守を筆頭に、幕閣に列なる重臣の面々、我も我もと參集して、將軍家光公御前での大評定です。

しかし一つ間違つたら、天下の民心を動搖させるやうな大事件だから、秘密の上にも秘密に付せられてゐることは、言ふまでもありません。

その閣老たちの間には、最前から、いろ〳〵の意見の交換があつて、評定は、いまが酣です。しかし十人十色、人おの〳〵觀るところが異つてゐて議論紛々たる有様でしたが、只だ、

「松平長七郎殿が、どうやら怪しい。或ひは長七郎殿が中心となつて、何か將軍に弓を引くやうな、陰謀でも廻らされてゐるのではないか……？」

といふ疑ひだけは、言ひ合せたやうに、殆ど、誰の胸にも、ひそんで居るのでした。

わけても、最も深く長七郎殿に疑ひを抱き、「長七郎叛心に紛れ無し」と、斷固を打つた強硬論者の急先鋒といふのは、松平伊豆守信綱でした。

その伊豆守が、諄々として意見を述べ始めると、實に條理井然として、將軍を初め、居並ぶ閣僚一同、固唾を呑みながら熱心に耳を傾け、一座はまことに、水を打つたやうな静けさでした。

すると、その緊張し切つてゐる静かな空氣を破つて、だしぬけに、「わッはッはッ〳〵」と、圖ぬけた大聲で笑ひ出した者があります。

一同は、びつくりしたのです。苟くも天下の一大事を評議して居る席上、場所柄をも辨へず、不謹愼極まる。一體誰だらうと、皆の視線が、言ひ合したやうに聲のした方へ注がれると、それが、我儘御免の大久保彦左衛門老人でした。

こゝで話はチョット脇道へそれるが、彦左衛門の、我儘御免の說明を簡單に述べて置きませう。

家康公が、まだ在世の時分の話ですが、彦左衛門が、幼名を平助といつた頃、三州長篠における甲州の武田勢相手の合戦を皮切りに、その後彦左衛門となつてからも大小數度の戰ひ毎に、少しも家康公のおそばを離れず、影の形に添ふ如く働いて來た誠忠無二の恩賞として、

「彦左、その方に、恩賞として、駿州沼津において、三萬石を與へるぞ」

と、仰しやつたことがありました。

その時の、彦左衛門の知行は、といふと、僅かに三千石。それが三萬石、十倍になるのだから、一足飛びの立身出世、彦左衛門雀躍して喜ぶかと思ひのほか、別に嬉しいやうな顏もせず。

「折角の御恩賞御思召のほどは、まことに有りがたう存じまするが、マアおことわり申しまする」

と、キッパリやりました。

家康公も、折角の張り合が拔けてしまつたが、

「なぜことわるのだ、人が折角遣らうといふものを、默つて貰つておけば宜いぢやないか」

とおつしやつた。